

リアホナ

ガーナの
開拓者たち、
12ページ

聖文に命を吹き込む、
16ページ

正直さの試験にパスするでしょうか、
26ページ

透明な訪問者を見つけたジュリア、
「フレンド」8ページ



成人

大管長会メッセージ

- 2 テンサイと人の価値
トーマス・S・モンソン大管長

家庭訪問メッセージ

- 25 ふさわしくなり、神殿での礼拝に参加する

特集

- 6 ジョセフ・スミス文書——啓示の書の手稿
マーリン・K・ジェンセン長老
ジョセフ・スミス文書プロジェクトに含まれる一連の文書により、預言者が新しい啓示からどのように教えを受けたかが明らかになります。
- 12 ガーナの開拓者たち
アフリカ・ガーナにおける末日聖徒の開拓者の絵画と物語
- 16 人生の規範となる聖文の物語 ジェイ・E・ジェンセン長老
この聖文研究テクニックを使って、「彼ら—そこ—当時」と「わたし—ここ—今」をつなぐ橋を架けてみてください。
- 33 あらゆる人に共通の標準 デビー・ツイッガー
『若人の強さのために』の勧告や祝福は若人のためだけでなく、年齢に関係なくすべての人に当てはまることを大人たちは発見しました。
- シリーズ
- 43 末日聖徒の声
争いを克服する。家庭を小さな天国にする。子供を霊的にもこの世の事柄においても助ける。お父さんを神殿に招く。経済的な不安にあって平安を見いだす。
- 48 今月号の活用法
家庭の夕べのためのアイデア。心に残る家庭の夕べ。今月号に採り上げられているテーマ。

表紙

表紙——「エステル・アデュ・アサンテ」リチャード・ハル画
裏表紙——「エステル・アデュ・アサンテ」
「若い女性——ノバ、ベラ、ジョージナ、カレン、レベッカ」リチャード・ハル画。
地図 / Mountain High Maps ©1993 Digital Wisdom, Inc

青少年

特集

- 22 底から頂上へ ドン・L・サール
絵画と音楽の才能を持つ若い女性のホセレン・カブレラは、様々な場所を訪問しています。
- 26 正直さのテスト
パトリシア・A・ジェイコブズ、フランシーニ・プレセンサ
正直であることがテストの成績よりも大切であると、友人は気づくでしょうか。
- 28 慎み深さ——あらゆる人に与えられた不変の原則
シルビア・H・オールレッド
慎み深さという徳が生活を制御し、節度あるものにするとき、自分はずっと価値ある存在だと感じるようになります。
- 38 常に努力する オクタビアノ・テノリオ長老
成功の秘訣は何ですか。それは、ひたすら努力すること、集中力を発揮すること、そして楽しむことです。

シリーズ

- 36 短いメッセージ
不安を抱えた宣教師が慰めを求めて祈る。「神への務め」によって生活を改善した男性。
- 42 ポスター——力を合わせて



リアホナ 2009年7月号
第11巻第7号(04287 300)

末日聖徒イエス・キリスト教会公式国際機関誌(日本語版)
大管長会:トーマス・S・モンソン、ヘンリー・B・アイリング、
ディーター・F・ワークトドルフ

十二使徒定員会:ボイド・K・バックナー、L・トム・ベリー、
ラッセル・M・ネルソン、ダリン・H・オークス、
M・ラッセル・バラード、リチャード・G・スコット、
ロバート・D・ヘイルズ、ジェフリー・R・ホランド、
デビッド・A・ベドナー、クエンティン・L・クック、
D・トッド・クリストファーソン、ニール・L・アンダーセン

編集長:スベンサー・J・コンティ

顧問:ゲリー・J・コールマン、ケネス・ジョンソン、菊地良彦、
W・ダグラス・シャムウェー

実務運営ディレクター:デビッド・L・フリッシュニク

編集ディレクター:ビクター・D・ケーブ

編集主任:ラリー・ヒラー

グラフィックスディレクター:アラン・R・ロイボーク

編集主幹:R・バル・ジョンソン

編集主幹補佐:ジェニファー・L・グリーンウッド、アダム・C・オルソン

共同編集者:ライアン・カー

編集補佐:スザン・パレット

編集スタッフ:デビッド・A・エドワーズ、マシュー・D・フリット、ラリー
ン・ポーター、ガート、アニー・ジョーンズ、キャリー・カステン、ジェニ
ファー・マディー、メリッサ・メリル、マイケル・R・モリス、サリー・J・オデ
カーク、ジュディス・M・パーラー、ジョシュア・J・パーキ、チャド・E・
ファリス、ジャンピンボロ、リチャード・M・ロムニードン、L・サル、
ジャネット・トーマス、ポール・バンデンバーグ、ジュリー・ワデル

主任秘書:ローレル・トイスチャー

実務運営アートディレクター:M・M・カワサキ

アートディレクター:スコット・バン・カンペン

制作主幹:ジェーン・アン・ピーターズ

デザイン・制作スタッフ:カリ・R・アロウ、コレット・ネベカー、ハワード・G・ブ
ラウン、ジュリー・バーテット、トーマス・S・チャイルド、レジナルド・J・クリス
テンセン、キム・フェンスターマカー、キャスリーン・ハワード、エリック・P・
ジョンセン、デニス・カービー、スコット・M・ムーイ、ギニー・J・ニルソン

製版:ジェフ・L・マーティン

印刷ディレクター:クレグ・K・セドウィック

配送ディレクター:ランディー・J・ベンソン

日本語版翻訳課長:ヘンリー・W・サブス・ローム

●定期購読は、「リアホナ」注文用紙」でお申し込みになるか、郵便振替
(口座名/末日聖徒イエス・キリスト教会 振替口座番号/00100-6-
41512)にて教会管理本部配送センターへ送金いただければ、直接郵
送いたします。●「リアホナ」のお申し込み・配送についてのお問い合わせ
……〒133-0057東京都江戸川区西小岩5-8-6/末日聖徒イエス・
キリスト教会 管理本部配送センター 電話:03-5668-3391

発行所 末日聖徒イエス・キリスト教会
〒106-0047東京都港区南麻布5-10-30
電話 03-3440-2351

定 価 年間予約/海外予約 1,800円(送料共)
半年予約 1,200円(送料共)
普通号/大会号 200円

「リアホナ」へのご投稿およびご質問は、下記の連絡先にお送りください。
Room 2420, 50 East North Temple Street,
Salt Lake City, UT 84150-0024, USA
電子メール: liahona@ldschurch.org

「リアホナ」(モルモン書)に出てくる言葉。「羅針盤」または「指示器」の意)は、
以下の言語で出版されています。

アイスランド語、アルバニア語、アルメニア語、イタリア語、インドネシア語、ウ
クライナ語、ウルドゥー語、英語、エストニア語、オランダ語、韓国語、カンボジ
ア語、ギリシャ語、キルギス語、クロアチア語、サモア語、シンハラ語、スウェ
ーデン語、スペイン語、スロベニア語、セブアノ語、タイ語、タガログ語、タヒチ語、
タミル語、チンコ語、中国語、テルグ語、デンマーク語、ドイツ語、トガ語、日
本語、ブルウェー語、ハイチ語、ハンガリー語、ヒスラマ語、ヒンディー語、フィ
ジー語、フィンランド語、フランス語、ブルガリア語、ベトナム語、ポーランド語、
ポルトガル語、マーシャル語、マダガスカル語、モンゴル語、ラトビア語、リト
アニア語、ルーマニア語、ロシア語。(発行頻度は言語により異なります。)

©2009 Intellectual Reserve, Inc. 著作権所有。印刷/日本
「リアホナ」に掲載されている文章や視覚資料は、教会や家庭において
一時的に、また非営利目的で使用される場合は複製することができます。
視覚資料に関しては、作品の著作権表示に制限が記されている場
合に複製できないことがあります。著作権に関するご質問は、
Intellectual Property Office, 50 East North Temple Street,
Salt Lake City, UT 84150, USA に郵送するか、電子メール
cor-intellectualproperty@ldschurch.org にご連絡ください。

「リアホナ」は、教会のホームページwww.lds.org(英語)に様々な言語で掲載
されています。英語の場合は「Gospel Library(福音ライブラリ)」をクリック
してください。その他の言語は「Languages(言語)」をクリックしてください。

合衆国とカナダの読者の方へ:

2009年7月号第11巻第7号「リアホナ」(USPS331)英語版(ISSN
1080-9554)は、末日聖徒イエス・キリスト教会(50 E. North Temple
Street, Salt Lake City, UT 84150)の月刊誌です。合衆国での購読料は
年間10ドル、カナダでは12ドル(税別)です。(送料込み)定期刊行物郵送料
は別料金で納められています。所変更は60日前にご連絡くだ
さい。最近の号の宛名ラベルを同封し、新旧送先を明記してください。合衆
国とカナダでの購読申し込みは、下記の別冊配送センターにお送りくだ
さい。購読に関するお問い合わせ:1-800-537-5971。クレジットカード
(ビザ、マスターカード、アメリカンエクスプレス)のご注文は電話で承ります。
(カナダ郵便情報:出版承認番号40017431)

郵便局長殿:住所変更がございましたらお知らせください。連絡先: Salt
Lake Distribution Center, Church Magazines, PO Box 26368,
Salt Lake City, UT 84126-0368

こ ども 子 供

F2 **預言者の声**
平和をつくり出す人々はみな、幸いである
ヘンリー・B・アイリング 管長

F8 **特集**
透明な訪問者 ハイディ・パイパー

F11 **西にむかう**

F4 **シリーズ**
分かち合いの時間——わたしたちのかそくは強くなります
シェリル・エスプリン

F6 **イエス様のように**

F12 **よげんしゃ ジョセフ・スミスの**
しょうがいから——
よげんしゃの声

F14 **小さなお友だちへ——**
天のおん父へのいのりとお歌
マイケル・ジョン・U・テー 長老

F16 **いろ**
色をぬりましょう



「フレンド」表紙
絵/ブランドン・ドーマン



今月号のどこかに隠れている
韓国語のCTRリングを
捜しましょう。
選べ、正しいページを!

読者からの便り

天の御父の近くにいると感じる

わたしは毎月『リアホナ』を受け取る
ことをとてもうれしく思っています。この
機関誌はどのように生きればよいかに
ついて書いた大切な記事を届けてくれ
ます。預言者とはかの教会指導者から
のメッセージをもたらしてくれる大会特
集号のおかげで、天の御父がわたした
ちに何をしよう望んでおられるか、そ
して、どのようにそれを行うことができ
るかを学びました。機関誌には、家庭
の夕べで学べるすばらしいメッセージ
が載っています。『リアホナ』の中で最
初に探すのは、青少年のための記事で
す。読む度に、心が落ち着き、天の御
父の近くにいるような感じがします。

ニカラグア、カリナ・チャベズ

乗り越える強さ

わたしは『リアホナ』を生活の手引き
として使っています。この機関誌は現
代人がどのような生活をしているかを
示し、同じ状況に自分があることを教
えてくれます。わたしは、記事に登場
する人の経験談を話や家庭の夕べで
引用します。『リアホナ』の中の模範を
通して、わたしは友達に、わたしたち
も普通の人と同様に試練に遭うけれ
ども、福音によって乗り越える強さが
得られることを理解してもらいました。

イングランド、アナ・ベルリニ

ご意見、ご感想を liahona@ldschurch.org にお送りくだ
さい。掲載されるお手紙は、誌面の都合上、あるいは平明にす
るために編集されることがあります。



テンサイと人の価値

トーマス・S・モンソン大管長

何年も前に、管理ビショップリックで顧問として奉仕したマービン・O・アシュトンビショップ(1883-1946年)が挙げた例を皆さんに紹介したいと思います。一緒に次のことを想像してみてください。一人の農夫がテンサイでいっぱいの大きなトラックを運転して砂糖精製工場へ向かっていました。でこぼこの砂利道を運転していると、幾つかのテンサイがトラックから跳ね落ちて、道沿いにごろごろと散らばってしまいました。テンサイを幾つか失ったことに気づいた農夫は、助手たちにこのように指示しました。「滑り落ちてしまったテンサイにも、同じだけの砂糖が含まれている。取り戻しに行こう。」

この例を応用すると、テンサイは指導者として召されているわたしたちが責任を負うこの教会の会員を表します。そして、トラックから落ちてしまったテンサイは、何らかの理由で教会に熱心に集うという道からそれてしまった男性、女性、青少年、および子供を表します。わたしたちの主なる御父にとって貴い人々について、テンサイに関する農夫のコメントを言い換えてみましょう。「道からそれてしまった人々にも、同じだけの価値がある。連れ戻しに行こう。」

今まさに、そのような人の幾人かは、世論の動きに巻かれています。荒れ狂う時代の流れに心を引き裂かれている人もいます。さらにほかの人は渦巻く罪の深みに引き込まれておぼれています。

そのような境遇にとどまる必要はありません。わたしたちには真実の教義と、教会のプログラムが与えられています。人もいますし、力もあります。わたしたちの使命は、単に集会に出席する以上のものです。人を救うために奉仕するのです。

わたしたちの奉仕——人を救う

主はすべての男性、女性、青少年、または子供の価値を強調してこのように言明されました。

「人の価値〔は〕神の目に大なるものである……。」

あなたがたはこの民に悔い改めを叫ぶことに生涯力を尽くし、一人でもわたしのもとに導くならば、わたしの父の王国で彼とともに受けるあなたがたの喜びはいかに大きいことか。

さて、あなたがたがわたしのもとに導いてわたしの父の王国に入れるようにした、一人の人とともに受けるあなたがたの喜びが大きいならば、もし多くの人をわたしのもとに導くとすればその喜びはいかに大きいことか。(教義と聖約 18:10, 15-16)

皆さんはこの業において御父の祝福にあずかる権利があることを覚えていてください。御父は、導きなしに、運に任せて独りで歩んで行かせるために、皆さんをその特権ある地位に召されたわけではありません。それどころか、御父は皆さんの持つ能力を御存じであり、皆さんの献身をよく御存じです。また、皆さんが不



テンサイは
指導者として召されている
わたしたちが
責任を負う
この教会の会員を
表します。
これらの人々について、
わたしは
このように言います。
「道からそれてしまった
人々にも、
同じだけの価値がある。
連れ戻しに行こう。」

リチャードは、
彼の
人生の転機は、
ビショップが
オイルピットの中に
隠れている
自分を見つけ、
教会に
再び活発に集えるよう
助けてくれたことだ
と言いました。

十分だと感じている部分を強さだと認識できるように変えてくださいます。御父はこのように約束されています。「わたしはあなたがたに先立って行こう。わたしはあなたがたの右におり、また左にいる。わたしの御霊みたまはあなたがたの心の中にある。また、わたしの天使たちはあなたがたの周囲にいて、あなたがたを支えるであろう。」(教義と聖約84:88)

初等協会の指導者の皆さん、皆さんが仕えている子供たちをよく知っていますか。若い女性の指導者の皆さん、皆さんの若い女性たちをよく知っていますか。アロン神権指導者の皆さん、若い男性たちをよく知っていますか。扶助協会とメルキゼデク神権指導者の皆さん、皆さんが管理するように召されている女性たちと男性たちをよく知っていますか。その人たちの問題や苦闘について、また切なる思いや熱望、希望について理解していますか。どれほどの道のりを歩んできたか、どのような問題を経験してきたか、また、どのような重荷を背負い、どのような悲しみを耐えてきたか知っていますか。

皆さんに勧めます。仕える人々に手を差し伸べ、愛してください。皆さんが仕える人々を心から愛するとき、彼らはあの恐ろしい「ネバーランド」にいることはありません。そこでは決して関心を払われることもなく、必要な援助を受けることも決して決してありません。町の門や宮殿のドアを開けることは、皆さんの特権ではないかもしれませんが、しかし、皆さんは自分が仕える人々の手を取り、心を動かすことができます。そのようにするときに、皆さん自身と皆さんが仕えるすべての人に、真の幸福と永遠の喜びが及ぶのです。

心に深く刻まれた教え

落胆することがあれば、主の時刻表は時々わたしたちの時刻表とは一致しないことを思い出してください。何年も前にわたしがビショップだったとき、若い女性の指導者の一人であったジェシー・コックス姉妹が、わたしのもとに来て言いました。「ビショップ、わたしは失敗しました!」なぜそう感じるのか尋ねると、彼女はどのように答えました。「わたしはミューチャルの少女たちを一人も神殿で結婚させることができませんでした。良い教師ならそれができたはずです。全力を尽くしてきましたが、わたしの全力は明らかに十分ではありませんでした。」

わたしはジェシーを慰めようとし、彼女ができることをすべてしてきたことをビショップとして知っていると言いました。それから、何年かその少女たちに注目していると、結局全員神殿で結び固められました。心に刻まれた教えは失われることはないのです。

ジェシー・コックス姉妹のような忠実な僕しもべを見てきて、指導者はそれぞれ真の羊飼いになれることを学びました。真の羊飼いは偉大な良い羊飼いの指示の下に奉仕し、主の声を知りその声を愛する人々を導き、彼らを愛し、世話する特権を与えられているのです(ヨハネ10:2-4参照)。

さまよう羊を探す

ビショップのころのもう一つの経験を紹介します。ある日曜日の朝、祭司の一人であったに出席しないリチャードがまた神権会にいないことに気づきました。わたしはアドバイザーの助けを得て神権会を抜け出し、リチャードの家へ向かいました。リチャードの母親は、息子は地元の自動車修理工場に働いていると言いました。そこでリチャードを尋ねて車で修理工場へ向かい、あちこち探しましたが見つかることができませんでした。突然、建物のわきにある古めかしいオイルピットの中を見ているようにという靈感を受けました。暗闇に二つの輝く目が見えました。リチャードの声が聞こえました。「ビショップに見つかった! 今、上に行くよ。」リチャードと話している間、わた





しは彼がいなくてみんながどれほど寂しく思っているか、またどれほど彼のことを必要としているか伝えました。彼は教会の集会に出席することを約束してくれました。

リチャードは驚くほど活発になりました。彼と家族はそのうち引っ越して行きましたが、2年後、彼は伝道に召され、わたしは彼が伝道に出る前に彼のワードで話をするよう招待されました。その日リチャードは話の中で、彼の人生の転機は、ビショップがオイルピットの中に隠れている自分を見つけ、教会に再び活発に集えるよう助けてくれたことだと言いました。

愛する兄弟姉妹の皆さん、わたしたちには責任があります。それは、影響を与えるために召されたすべての人に手を差し伸べるという厳粛な義務です。わたしたちの義務は、神の日の栄えの王国に彼らを導くことです。指導者の外套は、それをまとう者を慰める快適な衣ではなく、むしろ責任の衣であるということを感じることができるよう。助けと愛が必要な人々を救うために、わたしたちが手を差し伸べることができますように。

女性や男性、あるいは少女や少年を教会に活発に集うよう呼び戻すとき、それはつまり妻や姉、妹、あるいは母親の熱意ある祈りにこたえ、夫や兄、弟、あるいは父親の切なる願いを実現するのを助けているのです。また、愛ある御父の指示を尊重し、従順な御子の模範に従っているのです(ヨハネ 12:26; 教義と聖約 59:5 参照)。そしてわたしたちの名前はわたしたちが手を差し伸べる人々によって永遠にたたえられることでしょう。

わたしたちが奉仕し御父の子供たちを救うよう努めるとき、天の御父がいつも導いてくださるよう心から祈っています。■

ホームティーチャーへの提案

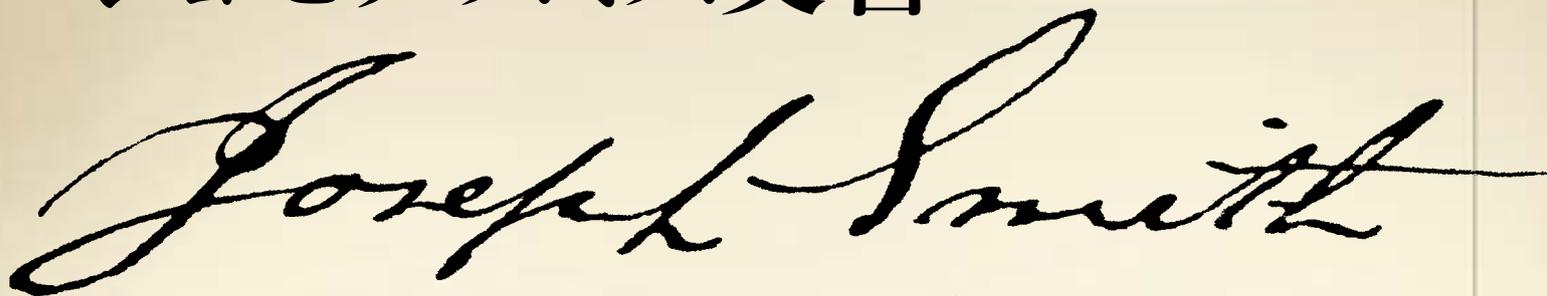
このメッセージをよく祈って研究した後、あなたが教える人々の参加を促すような方法を用いて分かち合ってください。幾つかの例を以下に紹介します。

1. 幼い子供がいる家族のために、「さまよう羊を探す」の項を読む。子供たちに、リチャードがオイルピットにいたときのような外見であったと思うか話してもらう。その後、宣教師としてのリチャードはどのように見えたと思うか話してもらう。家族に次の質問をする。「なぜビショップがリチャードを探すことは大切だったのでしょうか。」教義と聖約 18:10, 15-16 を読んで終わる。

2. レッスンを始めるに当たり、小銭を数枚床に落とす。次のように尋ねる。「この硬貨を拾うことは、わたしにとって大切でしょうか。それはなぜですか。」小銭を拾いながら、人は小銭より大いに価値があることを説明する。テンサイの話をする。人々が教会に活発に集うよう呼び戻すために、わたしたちはどのように「手を取り、心を動かす」ことができるか尋ねる。



ジョセフ・スミス文書



—啓示の書の手稿

啓示の書の手稿(手書きの原稿)には、ジョセフ・スミスが受けた啓示として知られる最も初期の原稿が含まれており、啓示の書がどのようにして出来上がったかについて洞察を与えてくれます。

七十人

教会歴史家および記録者

マーリン・K・ジェンセン長老

1970年代に末日聖徒の研究者たちは、ジョセフ・スミスの生涯と業績に関する書類を集め一般公開することが有益であると分かってきました。ジョセフ・スミス文書プロジェクト(The Joseph Smith Papers Project)は、何十年にもわたる努力の成果です。プロジェクトに携わる学者たちはあらゆる日誌、日記、書簡、説教、啓示、歴史記録、通知、法定書類、すなわちジョセフ・スミスが書いた、または作成するよう指示したすべての文書を収集することにしたのです。

完成すると、『ジョセフ・スミス文書』(The Joseph Smith Papers)は2,000以上の文書を収める約30巻になります。公文書、歴史書、日誌、管理上の書類、法律・実務関連書、啓示と翻訳など、おもな内容に基づき6つのシリーズ

に分かれます。すべての原稿を活字にして写しを取ることで、『ジョセフ・スミス文書』は研究者やジョセフ・スミスに関心のある人々にとって読みやすく、またろい古文書を扱って損傷を与える可能性が少なくなっています。どの写しも3つの段階を経て、正確な転写を図る学術的基準を満たすように作られます。

こうした歴史資料、特に最古の形態の資料の研究は、ジョセフ・スミスを研究する人に預言者の生涯と回復された教会の発展について豊かな理解をもたらします。また、『ジョセフ・スミス文書』は詳細な歴史研究をいっそう容易にします。教会、大学、歴史協会、個人所有など、様々な所に保管されている書類が、出版されて多くの場所で入手できるようになります。ゆくゆくはインターネットにも掲載されるでしょう。この広範にわたるプロジェクトは、研究者たちがほかの方法では探せなかった多くの資料を含む主要な資料をまとめた宝庫になります。そのため、『ジョセフ・スミス文書』はジョセフ・スミスと初期の教会歴史に関する今後の研究水準を高め、精度を上げることでしょう。

「啓示と翻訳シリーズ」

「啓示と翻訳」(“Revelations and Translations”)と題するシリーズの巻は、ジョセフ・スミスの啓示と翻訳を書き留めた最も初期の原稿と、ジョセフが生存中に出版されたそうした文書の公式版を再生するものです。これらの出版文書には、『モルモン書』の初版本(1830年)、『戒めの書』と呼ばれているジョセフ・スミスの啓示集の



こうした歴史資料の研究は、ジョセフ・スミスを研究する人々に預言者の生涯と回復された教会の発展について豊かな理解をもたらします。

最近になるまで研究者たちは、大管長会が所有してきた「啓示の書1」の恩恵に浴することはなかったのです。

「啓示の書1」には、最も古いことが分かっている多くの啓示の写しや、場合によっては、唯一現存する初期の原稿が収められています。教会の定期刊行物『イブニング・アンド・モーニングスター』(*The Evening and the Morning Star*)の創刊号に載った啓示の出典となったものです。どこかの時点でその書物から取り去られた4枚が現在、ミズーリ州インディペンデンスのキリストの共同体(Community of Christ)の図書古文書館に所蔵されており、許可を得て、『ジョセフ・スミス文書』に複製されています。

「啓示の書1」は、初期の啓示をほぼ網羅しており、1833年に出版された『戒めの書』²に掲載された65の啓示のうち64、ならびに1835年に出版された『教義と聖約』に掲載された103の啓示のうち95を収めています。『戒めの書』または1835年版の教義と聖約のどちらにも掲載されていない啓示は10しかありません。

ジョセフ・スミス生存中に出版に向けて準備された啓示の書の写本

出版前に原稿を見直す際にジョセフ・スミスがしたことの一つは、「聖霊の導きによって発見し得る誤りを訂正する」³ことでした。人間が携わる一連の行程、つまり啓示を筆写し、写本へ書き写し、次に幾人もの手を経て出版の準備をする間には、無意識の間違いが避けられないということを、ジョセフは経験から知っていました。時には言葉遣いを明らかにするために変更が必要なこともありました。時折、先に受けた啓示を後に受けた啓示に置き換えたり、更新したりするために、以前の版を改める編



ジョセフは啓示を文字に書くことを主の声を記録する最善の努力と見なしていたようです。

集作業が必要になることもありました。そのほか様々な変更をすることも折に触れてありました。文章を節に分ける、意味を明確にするなどのこうした変更の大部分は大きな訂正を要するものではありませんでした。

ジョセフは啓示を文字に書くことを、主の声を記録する最善の努力と見なしていたようです。主は御自身を低くして、人間の「ゆがんだ、たどたどしい、散漫な、不完全な言葉」⁴とジョセフが述べた言葉で御心を伝えてくださっているのです。出版された啓示の書に対して啓示されたはしがきも、この原則を述べているように思われます。「わたしは神であり、わたしがこれを語った。これらの戒めはわたしから出ており、わたしの僕たちに、彼らの弱さのあるままに、彼らの言葉に倣って与えられた。」(教義と聖約1:24)

ジョセフと彼の協力者たちは、啓示の文面を修正し出版の準備をするよう、教会の大会の決議で任命されました。最近、両方の啓示の書の原稿を分析した結果、多くの変更がどのように、いつ行われたかが分かってきました。例えば、幾つの変更是抜粋がミズーリ州で出版される前に行われましたが、1835年に『教義と聖約』が出版される前にオハイオ州で行われた変更もありました。

よく行われた変更の一つを紹介しましょう。シドニー・リグドンは度々、啓示の中で使われた聖書にあるような *thee, thy, thine* (訳注——日本語では「^{なんじ}汝は、汝のもの」に当たる)を現代語の *you, your, yours* (訳注——「あなたは、あなたの、あなたのもの」の意。)に変えました。こうした変更の多くは後に、元に戻されました。また、シドニー・リグドンは文法を直し、単語や意味を明確にし修正するために幾つかの用語を変更しました。

少数ではありましたが、もっと大きな変更が加えられたこともありました。1835年に『教義と聖約』を出版するときに啓示の最新版が作られた時のことです。例えば、第20章は1830年に受けた啓示ですが、今日わたしたちが知っている教会の指導体制の多くは、それ以降にジョセフ・スミスに啓示されたものです。1835年までにジョセフは啓示により多くの職と定員会を組織しました。こうした新たに啓示された教会組織の秩序を盛り込むために、第20章に幾つかの文の変更と追加が行われました。例えば、神権の職への聖



ジョセフ・スミス

には、写本の中の3つの啓示しか掲載されませんでした。1844年版の『教義と聖約』では、写本の二つの啓示が初めて公表されました。

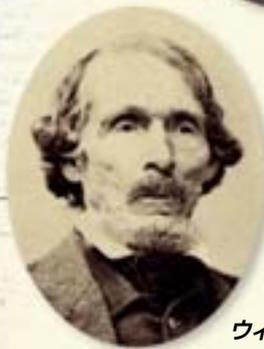
その後、1981年版の『教義と聖約』までに行われた編集上の変更は、わずかな言葉の変更が時折行われただけでした。大きな内容上の変更は、預言者ジョセフの指示の下で1835年版に行われました。



ジョン・ホイットマー



シドニー・リグドン



ウィリアム・W・フェルプス

任に関する現在の65節から67節は、1833年の出版後に啓示されたもので、後に1835年版に追加されました。

ジョセフ・スミスは協力者たちが行った編集上の変更の多くを見直し、1833年に『戒めの書』が出版される前に、自分の手でわずかな修正を加えました。また、1835年に『教義と聖約』が出版される直前に、啓示の中に出てくる個人の姓を加えるなどの変更を追加しました。

1834年から1835年のある時期、オハイオ州カートランドで、1835年版の『教義と聖約』の準備に「啓示の書2」が使用され、その写本の中の8つの啓示を除くすべてが1835年版で公表されました。それと対照的に、1833年の『戒めの書』

新しい情報

これらの写本の編集に、『ジョセフ・スミス文書』の編集者たちは新しい情報を発見しました。例えば、多くの初期の啓示には一般的に日付が月しか記録されておらず、ジョセフ・スミスの生涯の年代記に関心を持つ研究者たちは長年、それだけしか頼りにできませんでした。しかし、「啓示の書1」はこうした啓示の多くに具

体的な日付が明記されており、さらに啓示の多くに付記されたジョン・ホイットマーの短い歴史的序文も、研究者に歴史的な背景を提供しています。

入念な分析を通して、編集者たちは原稿に手書きで記された大部分の編集記号を識別できるようになってきました。「啓示と翻訳シリーズ」が出版される時、見開きのページの片方に手書きの文書、もう片方に活字の文書と、両方の画像が並べて掲載されます。そうすると、読者は手書きの原稿、編集記号、文書の質感さえも見て取ることができますが、筆跡を判読する専門家の技能は必要ありません。原本の変更箇所は写本では色づけられ、各ページに書き込んだ人の筆跡を読者が識別できるようになっています。

「啓示と翻訳シリーズ」の作業から生じたもう一つの興味深い成果は、カナダでモルモン書の版權を取得することに関する未公表の啓示の発見です。デビッド・ホイットマーは教会を離れた後、次のように回想しています。「版權販売の成功は啓示により約束されていましたが、任務を帯びた人々が帰国すると、ジョセフ・スミスとほかの人たちは失敗のように思われた状況に落胆しました。」歴史家たちは何十年もの間、デビッド・ホイットマー、ハイラム・ページ、ウィリアム・マクレランの記述に頼ってきましたが、啓示の実物の原稿を持っていませんでした。「啓示の書1」にはそれが掲載されます。

わたしたちはまだ一部始終を知りません。特に、当時の状況に対するジョセフ・スミス自身の見解は分かりません。しかし、神の言葉を「失敗に終わった啓示」と呼ぶことは根拠がないということを知っています。版權の販売の成功は、売ろうとする人のふさわしさと買う人の霊的な感受性に左右されることを主は指示の中で明確に述べておられます。⁵

預言者の新しい理解

教会の初期に行われた啓示の文の編集と更新は、ジョセフ・スミスが絶えず啓示を受けていた過程を実証しています。啓示の写本は、ジョセフが受けた知識や教義が間違いなく書き写され印刷されたことを確かめるために、人々がいかに苦勞したかを示しています。どのような文書の出版についても言えることですが、書き写し印刷するという工程は誤りを招きかねません。場合によっては、新しい啓示により以前に受けた啓示の変更や更新が必要になり、新たな理解を反映するように前に書いた啓示を預言者が編集しました。このようにして、預言者の教義的知識が明確になり拡大するにつれて、記録された啓示も明確になり拡大しました。神聖な問題に対する預言者の理解の深まりが、記録された啓示にも表れまし

た。預言者は、啓示は一度記録されたら、後に受けた啓示によって変更されることはないとは考えていませんでした。

これらの啓示の写本の保存と出版は、教会歴史の研究者たちにとって重要な資料となっています。このプロジェクトを通してわたしたちは、印刷された啓示がどのようにして整理され出版されたか、そしてジョセフ・スミスがどのような考えや意図を持っていたかを、いっそう深く理解することができます。啓示の写本の研究は、成長する教会の絶え間なく変わる必要を満たすように、絶えず啓示を与えてくださる主の計画について、わたしたちの知識だけでなく^{あかし}証を増してくれます。

この記事の執筆に当たり、ジョセフ・スミス文書プロジェクトのロビン・S・ジェンセン兄弟と教会機関誌のジョシュア・J・パーキー兄弟から得られた助けに感謝します。■

注

1. リチャード・E・ターリー・ジュニア編、*Selected Collections from the Archives of The Church of Jesus Christ of Latter-day Saints*(DVD, 2002年)
2. 「戒めの書」に掲載され、「啓示の書1」になかった唯一の啓示は、「戒めの書11」にある1829年5月-Bの啓示です(教義と聖約12章参照)。
3. Minute Book 2(“Far West Record”とも呼ばれる), 1831年11月8日
4. 「ジョセフ・スミスからウィリアム・W・フェルプスへ」, 1832年11月27日, *Personal Writings of Joseph Smith*, デイーン・C・ジェシー編, 改訂版(2002年), 287に収録
5. Revelation Book 1, 30-31参照



ガーナの 開拓者たち

ブリガム・ヤング大学(BYU)で芸術を専攻するゲーリン・リバーラ姉妹は、ガーナの開拓者の聖徒たちの驚くべき話を聞いたとき、美術の学士号を取るためのイラストの課題として彼らの肖像画を描きたいと思い、2005年秋にその方法を探しました。その結果、奨学金をもらい、彼女と芸術専攻の3人の学生(ジェシー・ブッシュネル姉妹, エマリー・グラウサー姉妹, アンジェラ・ネルソン姉妹)は、2006年の5月と6月をガーナで過ごしました。BYUの教員リチャード・ハル兄弟がそのプロジェクトを監督しました。5人は開拓者の聖徒たちだけでなく最近教会員になった人たちの話と画像を集めました。旅行の数か月後、多彩な情報を基にして描かれた肖像画は、2007年10月にBYUのB・F・ラーセン・ギャラリーに展示されました。ここにその幾つかを紹介しましょう。

1. 「真理を独り擁護するアジョア」 アンジェラ・ネルソン画

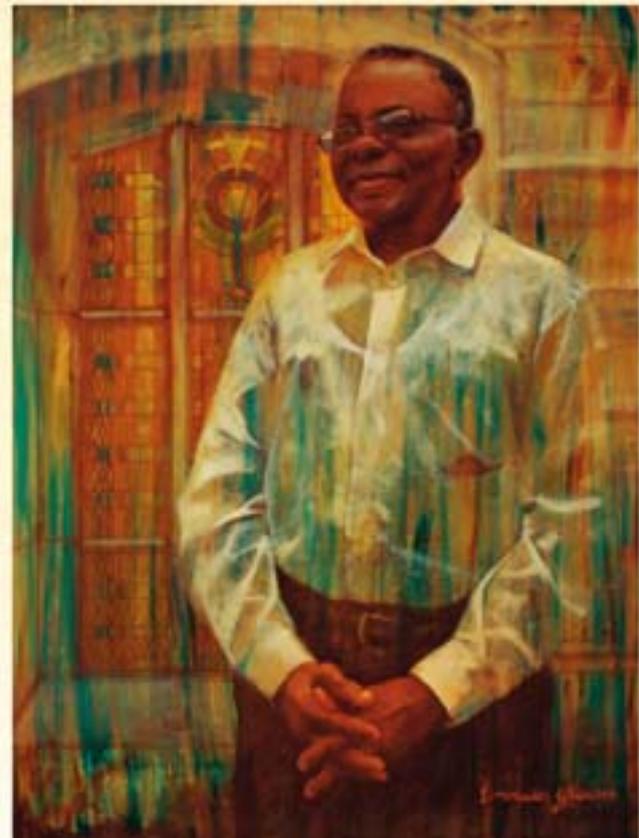
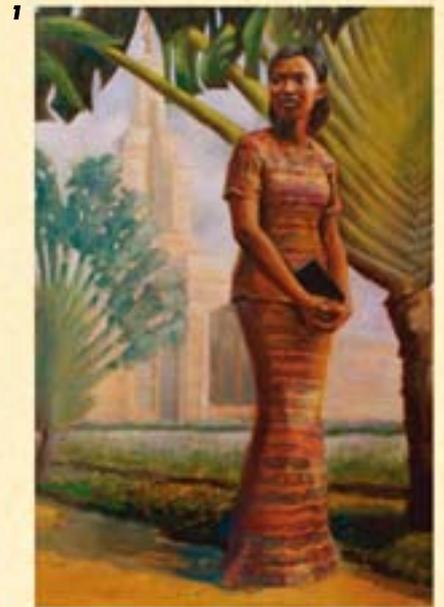
医者になるために勉強中のアジョア・アモアアンバ姉妹はこのように述べています。「家にいるときや、周りに人がいるときには、教会員であることは心地よいことです。でも、ほんとうの末日聖徒の女性は、独りであるときにも、自分が教会員であることを意識します。時折、教会は誤解されます。ですから、わたし自身が真理の模範になることが大切なのです。」

2. 「ジョセフ・ウィリアム・ビリー・ジョンソン——聖きを主に捧ぐ」 エマリー・グラウサー画

この絵を描いたエマリー・グラウサー姉妹はケープコーストのジョンソン兄弟についてこのように書いています。「彼は14年間、福音を教えました。おかげで1978年に宣教師が到着したときには、1,000人以上の人がバプテスマを受ける準備ができていました。彼は人生も心も神にささげている人です。彼の影響を受けて、わたしはキリストのような愛と慈愛の特質を身に付ける努力をするようになりました。」

3. 「ビトナー・ジョンソン——祝福師の孫」 ジェシー・ブッシュネル画

ゴードン・ビトナー・ヒンクレー大管長の名前をもらったビトナー・ジョンソンは、ブリガム・ジョンソン兄弟の息子であり、ジョセフ・ウィリアム・ビリー・ジョンソン兄弟の孫です。





4



4.「ブスアの朝」ゲーリン・リベラ画

5.「光と真理の中で子供を育てる」ゲーリン・リベラ画

クマシのビショップ、コフィ・ソス兄弟と妻のリングは、家族の祈り、聖文研究、家庭の夕べを欠かさず行うことによって家族を強めています。

6.「エマヌエル・キシー——『彼はその女性を起き上がらせた!』」ジェシー・ブッシュネル画

1983年、栄養不良の子供を抱えた非常に貧しい女性が末日聖徒の医師エマヌエル・キシー兄弟に助けを求めて来ました。キシー先生のところには、栄養不良の患者用に教会から送られてきた食糧がありました。彼はその女性に米やトウモロコシ、豆、食用油を無料で渡しました。女性は感謝して医者の前に身を伏せました。キシー先生は女性の手を取り、彼女を起き上がらせて言いました。「この食物は神からあなたに送られたものです。神に感謝をささげてください。」



5

6

7.「シオンの娘、エマ・ポーテン」アンジェラ・ネルソン画

この絵を描いたアンジェラ・ネルソン姉妹は、帰還宣教師のエマ・ポーテン姉妹についてこう書いています。「長いこと会えなかった姉か妹にでも会ったようでした。エマはクマシでわたしたちを案内してくれた人で、宣教師の輝きがまだ残っていました。エマはジャーナリズムを勉強中で、インスティテュートに通っていました。デートについて悩みや希望を持っていましたが、福音を中心とした生活を送ろうと努力していました。ヤングシングルアダルトとしてわたしたちと同じ経験をしていました。」



7





8. 「コフィ・ソスピショップとその父親——救し合う父と息子」 エマリー・グラウサー画

コフィは伝道の後、家へ帰りたいたと思いましたが、父親に勘当されていました。とにかく帰ってみようと決心しました。家へ着くと、父親は息子を見て言いました。「生まれ。」息子は立ち止まりました。

「おまえはだれだ。」父親が尋ねました。

「息子です。」

「息子?」

「はい、あなたの息子のコフィです。」すると、父親の頬に涙が流れました。父親は立ち上がり、息子を抱き締めました。

「息子よ、すまなかった。おまえは正しいことをしたのだ。息子として認めているとも。」



9. 「アクア夫妻(ウィリアムとシャーロット)——一つの心と一つの思い」 エマリー・グラウサー画

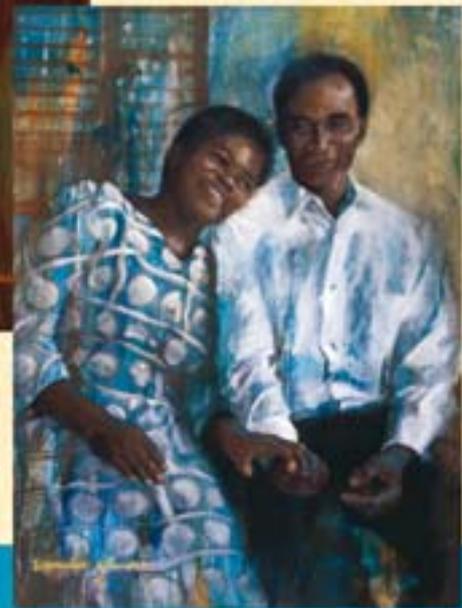
ウィリアムとシャーロット(二人とも末日聖徒の2世)は、何年もの間、苦楽を共にして福音の中で成熟しました。あらゆる経験を通して、二人は神と、またお互い一つに結ばれています。二人は互いへの愛を示すために手を握っています。このように手をつなぐことは、ウィリアムが夫婦宣教師から学びました。その宣教師はまた、祈ることと、自分が神の子供だと確信することも教えてくれました。

10. 「バプテスマの海辺」 ジェシー・ブッシュネル画

この穏やかな海辺は、何百人というガーナ人がバプテスマを受けた場所です。

11. 「シオドラ・アクア——3世の娘」 ジェシー・ブッシュネル画

シオドラはケープコーストに住む末日聖徒の3世です。彼女が教会に集っているのは、かつて教会に入り、子供や孫に福音を教えた祖母の信仰のおかげです。祖母は末日聖徒になると、集会所の掃除をし、床を磨くために水の入ったバケツを選び、教会の集会が始まる前に必ず集会所を清潔に整えていました。



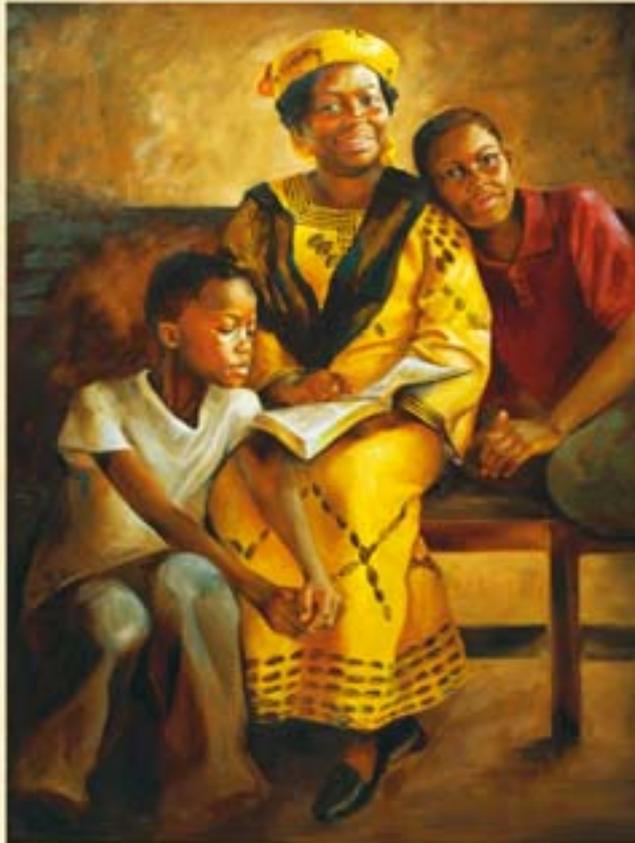
9

10





11



12



13



14



12. 「固き基、カク家族」 アンジェラ・ネルソン画

この絵の作者アンジェラ・ネルソン姉妹はこのように書いています。「カク兄弟姉妹がケープコーストの家にわたしたちを招待してくれたとき、ユタの我が家へ帰ったように感じました。いちばんよかったのは、にぎやかな夕食が終わった後、子供たちが全員両親の周りに集まって聖典を広げたことです。この家族と一緒に過ごし、子供たちが両親に導きを求め、両親が聖文から答える姿を見たことは、決して忘れられないでしょう。」

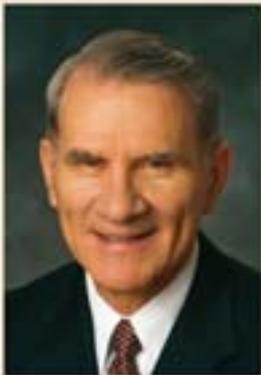
13. 「ハンナ」 リチャード・ハル画

このクマシの末日聖徒ハンナ・パー姉妹の肖像画について、作者はこのように述べています。「わたしは彼女の明るく快活な人柄を描こうと努めました。」

14. 「夕食の支度、エマ・ポーテン」 アンジェラ・ネルソン画

アンジェラ・ネルソン姉妹は、ポーテン家族がキャッサバの根から主食のフーフを作る様子について、このように書いています。「まるでダンスを見ているようでした。動きが完全にぴったり合っていたのです。一人が杵を高く上げ、ドサッと落とすと、もう一人がキャッサバを素早く丸め、絶妙のタイミングで相手が再びその上に杵を落とすのです。彼らの日常生活にもリズムがあります。熱心に戒めを守るというリズムです。ここでの生活のリズムを決めるもの、すなわち時間の流れを刻む基準は、物を手に入れることではなく、人とかかわり合いや、友人や家族を助けることです。わたしには、特に彼らの堅固な証あかしの中に、常に一定のリズムを刻む彼らの決意が見えます。」

人生の規範となる 聖文の物語



わたしは
聖文の理解を
深めるのに役立つ、
聖文研究の
重要なパターンを
教わりました。

七十人会長会

ジェイ・E・ジェンセン長老

妻とわたしがまだ若かったころ、子供たちと一緒に聖文を読むとき、神聖な言葉が子供たちにとって現実的な意義深いものとなるように努力しました。うまくいくこともありました。うまいきこともありませんでしたが、そうでないときもありました。ある朝、子供の一人がこう言いました。「お父さん、これって、退屈だよ！ 読んでいることの意味が分からないよ。」皆さんも、おそらく、同じような経験があるでしょう。幸いなことに、その後、わたしは聖文研究を有意義にする方法を教わりました。この方法は、個人で、また家族一緒に、聖文の理解を深めるために役立っています。

隔たりを埋める

この方法を学んだのは、わたしが教会のセミナーで教えるようになって2年目のことでした。その日わたしたちは、ベテラン教師であり、セミナー・インスティテュートの教師会指導者でもあったリランド・アンダーセン兄弟が、わたしたちのクラスを訪問するという連絡を受けま

した。生徒のために少し話してくださいとお願いさえすれば、レッスンのほとんどの時間はアンダーセン兄弟の時間になることをわたしは心得ていました。その朝、わたしの旧約聖書クラスに参加したときも例外ではありませんでした。彼はチョークを手にとると、ダビデとゴリアテの物語を話し始めたのです。アンダーセン兄弟はあっという間にクラス全員の注意を引きつけました。しかし、それよりもっと大切なことに、わたしはまさにベテラン教師が教えるその姿を目にしていました。アンダーセン兄弟は、わたしが「隔たりを埋める」と名付けた方法で、聖文を実生活に関連づけることを生徒とわたしに教えてくれたのです。

1本の橋を思い浮かべてください。この橋の一方は、過去に固定されており、3つの部分から成り立っています。(1)彼ら、すなわち過去の預言者や人々、(2)そこ、すなわちそのような人たちが住んでいた場所、(3)当時、すなわちそのような人たちが住んでいた時代、の3つです。



聖文の物語と日常生活の
類似点を
認識することによって、
両者の間の隔たりを
埋めることができます。

この橋のもう一方は、現代に固定されており、3つの部分から成り立っています。(1)わたし、すなわち現代に生きるわたし、(2)ここ、すなわちわたしが住んでいる場所、(3)今、すなわちわたしが住んでいる時代、の3つです。

聖文を研究する際の目的は、彼ら—そこ—当時とわたし—ここ—今をつなぐ橋を築き、彼らの時代とわたしたちの時代の類似点を見いだすことです。

アンダーセン兄弟は次のような手順でダビデとゴリアテの

物語を紹介しました。まず、サムエル記上第17章を開かせ、イスラエル人とペリシテ人の間で行われていた争いの背景について説明しました。ゴリアテと戦える人物をイスラエルの中から探すという難題に直面していたこと、信仰に満ちあふれる少年ダビデが名乗りを上げたことを話してくれました。アンダーセン兄弟は第17章の中から、現代にも通じる4つの語句から成るパターンを明らかにしました。これらの語句は、過去と現在の橋渡しとなるものでした(表1参照)。



表1 — 神の大義において神の武具を試す(サムエル上17章参照)

節	聖文に書かれた語句	現代との類似点
29	「大義はないのですか。」*	現代には多くの大義がある。
39	「〔武具に〕慣れていないからです。」	わたしはどのような武具に慣れている、あるいは試したことがあるだろうか。
45	「わたしは……主の名……によって、おまえに立ち向かう。」	聖約の民であるわたしたちは、どのような試練にも主の御名によって立ち向かう。
46	「イスラエルに、神がおられることを全地に知らせよう。」	わたしたちの目的は、イスラエルに神がおられることを周囲の人々に知らせることです。

*欽定訳聖書(英語)から和訳



救い主が教導の業を始められたときに経験されたことは、
わたしにとって霊的に成長するための真の手本です。

この手本はリーハイやジョセフ・スミスを含め、聖文に記されている他の多くの物語にも見いだすことができます。

物語から類似点を見いだす

教えるときにも同じパターンを当てはめることができます。物語に類似点を見いだすのは霊的な作業です。聖文を読んで学ぶときに、何度も祈ってください。学ぶ前に祈ってください。もちろん、学んだ後でも祈ってください。学ぶときには、時々、間を置き、学んでいる内容に感謝してください。さらなる光と真理を求めてください。聖文に書かれた物語を読んでいるときには、過去と現在を結びつける類似点を見いだせるように祈ってください。わたしの場合、そのような類似点のほとんどは、祈り、研究し、探求し、めいそう冥想し、みたま御霊に耳を傾けることによって与えられました。

アンダーセン兄弟は、かぎ鍵となる語句に焦点を当てることで、ダビデとゴリアテの物語から4つの類似点を見いだし、それぞれについて深く掘り下げていきました。その後で、現代の実例を用いながらそれらの類似点を説明しました。この4つの点から話し合いを展開するベテラン教師の姿を目の当たりにすることで、わたしに聖文研究の扉が開かれました。その扉とは、物語の中に類似点というパターンを探すことです。

聖文の物語には、通常、以下の要素が見いだされます。また、これらの要素は現代に容易に置き換えることができます。

1. 物語は順を追って展開する。
2. 物語の展開には始めと終わりがある。
3. 物語に出てくる語句または文章は永遠の真理を示す原則である。
4. 語句または文章は、過去にも現代にも応用できる真理を表している。

新約聖書の中にある物語の類似点

セミナーの教師用に、新約聖書のテキストを作る作業に

かかわっていたとき、とても効果的に物語を説明する方法を一つ思いつきました。救い主は教導の業を始められたとき、40日4夜断食をし、神と親しく交わるために荒野へ入って行かれました(ジョセフ・スミス訳—マタイ4:1-11参照)。救い主が経験されたことは、わたしにとって霊的に成長するための真の手本です。

- 救い主は御自身の神聖な責任に気づき、神との交わりを求められた。
- 救い主は啓示と教化を受けられた。
- 主は厳しい試練を受けられた。
- 試練に打ち勝った結果、さらなる光と真理を受けられた。¹

このパターンは他の多くの聖文の物語にも見いだすことができます。例えば、リーハイは助けを求め(1ニーファイ1:5参照)、助けを受け(1ニーファイ1:6参照)、厳しい試練を受け(1ニーファイ1:19-20参照)、その結果として、さらなる光と真理を与えられました(1ニーファイ2:1参照)。

ジョセフ・スミスも同じパターンを経験しました。

- 霊的な交わりを求めた(どの教会が真実か)。
- ヤコブの手紙第1章5節を読んだ後で答えを受けた。
- 厳しい試練を受けた。
- 試練に打ち勝った結果、さらなる光と真理を受けた。

わたしも人生で、このパターンに似た数多くの経験をしました。七十人の会員として召されたことが、その良い例です。召しは1992年6月の第1週に与えられました。わたしに与えられた最初の割り当ては、8月1日から中央アメリカ地域会長会の一員として奉仕することでした。7月の休暇期間中、わたしは聖文、特に、モルモン書を熱心に読み、召しを果たす備えをし、自分は力が不足しているという気持ちを克服するために、何時間も学び、祈り、冥想したのです。

マタイによる福音書第4章1から11節とジョセフ・スミス訳のマタイによる福音書第4章1から11節に基づいて、表2の類似点を思いつきました。

ジョセフ・スミス訳のマタイによる福音書第4章11節は欽定訳のマタイによる福音書第4章11節とは実質的に異なっています。しかし、後者で教えられている「御使たちがみもとにきて仕えた」という真理は真実の原則です。

皆さんも自らの人生を吟味し、このようなパターンで霊的に成長したときのことについて考察してみてください。

モルモン書の物語の類似点

ビショップとして奉仕しているとき、重大な罪を犯した一人

の会員がわたしのもとへ来て、助言と指示を求めました。彼の教会員資格は危うい状況にあり、イスラエルの判士であるわたしに告白することは悔い改めの過程を踏む助けになりました。アルマ書第36章の物語の類似点は、ワードのこの会員が悔い改めを始めるのに役立ちました(表3参照)。

赦された後で、アルマは自分の受けた苦痛を思い出すことも、自分の犯した罪に苦しむこともなかったものの、自分の罪の内容は覚えていたことに注目してください(16節参照)。アルマが後で罪を思い出しても、苦しみ悩むことはありませんでした。主はわたしたちが同じ罪を繰り返さないように罪の記憶を持ち続けるのを許しておられます。しかし、苦痛と傷は確かに取り除かれるのです。



表2 — 霊的に成長するためのパターン(マタイ4章参照)

節	聖文に書かれた語句	現代との類似点
1	救い主は御自身の神聖な責任に気づき、神との交わりを求められた。	わたしは自分の神聖な責任に気づき、神との交わりを求めた。
1	救い主は神と交わられた。	わたしは学び、断食し、瞑想し、祈ったときに教化された。
3-10	救い主は誘惑と試しを受けられた。	わたしは、自分は力不足でふさわしくないという気持ちによって試された。
11	天使が救い主に仕えた。	神の助けを受けて前進できるように、聖霊がわたしを慰め、教え、教化し、強めてくださった。



表 3 — 悔い改めと赦し(アルマ 36 章 参照)

節	聖文に書かれた語句	現代との類似点
6	アルマは歩き回って、教会を滅ぼそうとした。	この会員は罪を犯した。
6-11	神は天使を遣わして、アルマを止められた。	その男性は罪にとらえられていた。
11-16	アルマは恐れに打たれ、苦痛に責めさいなまれた。	彼は苦しみ、恐れ、深く反省し、後悔した。
17	アルマは父親が贖いについて預言するのを聞いたことを思い出した。	彼は家庭の夕べで父親と母親から贖いについて教わったことを思い出した。
18	アルマは憐れみを求めて祈った。	彼は赦しを求めて祈った。
19	アルマは二度と自分の罪を思い出さなくなかった。	彼は二度と自分の罪のために苦しむことはなかった。
21-23	アルマは喜び、光、そして強さを受けた。	彼は喜び、光、そして強さを受けた。
24	アルマは人の霊を救うために休むことなく働いた。	彼は人の霊を救うために働いた。
27	アルマは試練の中で支えられた。	彼は試練の中で支えられた。

自分たちの利益となり、知識となるように

物語の類似点は聖文の中の物語、あるいはその物語の前後の出来事に見いだすことができます。これらの物語を読み、学ぶとき、過去と同じように現代にも当てはまりそうな語句や原則が目に入ってきます。祈りの気持ちで学び続けると、その他の原則も明らかになってきます。原則を結びつけていくことで、過去に生きていた預言者や人々、すなわち、彼ら—そこ—当時と現代のわたしたち、すなわち、わたし—ここ—今

の間にある隔たりを埋め始めることができます。これこそニーファイが語った、「すべての聖文を自分たちに当てはめて、それが自分たちの利益となり、知識となるようにする」ことかもしれません(1ニーファイ 19:23)。また、隔たりを埋めることにより、わたしたちは主の御言葉を大切に心に蓄えるのです(ジョセフ・スミス—マタイ 1:37 参照)。■

注

1. *Life and Teachings of Jesus* (教会教育システム手引き, 1974年), 41 参照



底から頂上へ

このウルグアイ出身の若い女性は、
行きたい所へ行く方法を
知っています。

教会機関誌

ドン・L・サール

オ能があれば、難なく頂点にたどり着けると言われることがあります。しかし、ホセレン・カブレラの場合、自分の才能でたどり着いたのは世界地図で「底」にある南極大陸でした。夢を実現する過程で彼女が知ったのは、価値ある夢は追い求めるに値するという、そのような夢を抱いていれば必要なときに援助者が現れるということです。

ホセレンは14歳のとき、母国ウルグアイのアソシアシオン・シビル・アンタルコス(アンタルコス市民協会)が主催する絵画コンテストで優勝しました。ホセレンと彼女の学校の教師が受けた副賞は、他の部門で優勝した生徒とその教師たちとともに南極旅行に行くことでした。ホセレンは父親と美術教師から、心の中に描いている絵を完成させる方法を分かりやすく教えてもらいました。



その旅行は非常に興味をそそられるもので、3つの段階から成っていました。まず、軍の輸送機でウルグアイのモンテビデオからチリのプンタアレナスまで移動し、次に、南極大陸のチリ基地まで飛行機で海の上を飛び、さらには陸路をウルグアイの辺境植民地であるアルティガス南極大陸科学基地まで移動するというもので、モンテビデオから約3,000キロに及ぶ旅行でした。幾つかの国の科学基地が南極大陸沖のキングジョージ島に点在していました。

ホセレンの絵と旅行の記録は、全国版の雑誌『ウルグアイ・ナトゥラル』(Uruguay Natural)の特集記事になりました。

「南極大陸の様子は想像していたものとは少し違っていました」とホセレンは笑みを浮かべながら語ります。受賞した絵にはペンギンと氷が描かれていましたが、実際に訪問したときは夏で、雪はまばらで、ペンギンもほとんどいませんでした。しかし、おかげで予定よりも少し多くの景色を見る機会がありました。海岸に沿ってハイキングを楽しみ、途中、コリンズ氷河、ドレーク海峡、ウルグアイ湖(ウルグアイ基地はこの湖から飲用水を確保している)を見ることができました。また、ほかの基地にも訪問できました。

この旅行でホセレンの夢が一つ実現しました。ホセレンは



ホセレンが南極大陸を訪れたときの写真。

今19歳で、ウルグアイ・コロニア地方部コロニアスイサ支部の会員です。彼女は、南極旅行以外の夢も実現しています。『成長するわたし』で様々な経験をし、「若い女性表彰」を受けることも、そのような夢の一つでした。ホセレンは、自分が達成したことや神の娘としての可能性を忘れないためにペンダントを身に付けています。高校を卒業した今、ホセレンは大学で建築の勉強をしようと計画しています。

これまで、学校で証を分かち合う機会はありませんでした。友達は彼女の信じていることを尊重してくれましたが、宗教について話し合うことはあまりありませんでした。ホセレンはおとなしい反面、正しいことは恐れることなく擁護しました。そのような機会が一度訪れました。一人の生徒が他の生徒に、末日聖徒は強制的に^{あかし}自分の一を納めさせられていると言ったのです。「それはちょっと違うわ」とホセレンは正しました。「わたしたちは喜んで納めているのよ」と言って、自分の一が神への自発的なささげ物であることを説明したのです。

ホセレンは教会の中で育ちましたが、12歳くらいのときに自分自身の証を得て、



いつまでも両親の証に頼るわけにはいかないということに気づきました。彼女は証を得ることについて、こう語ります。「それは強烈な経験ではありませんでした。でも、福音がわたしに喜びをもたらしてくれることを知っていました。」

夏休みの期間中、ホセレンはよく姉妹宣教師と一緒に出かけます。時折、よく知っている人に証をする機会もあります。ある日、宣教師が求道者に福音について教える機会に同席したところ、その求道者が同じ学校でいちばん仲の良い友人だったこともあります。「自分の感じていることをありのままに話しました」とホセレンは語ります。ホセレンは、友人に自分の証を分かち合えたことを喜んでいました。

「わたしは、ジョセフ・スミスが聖なる森で苦しみに遭っても祈り続けた話が好きです。」(ジョセフ・スミス—歴史1:15-17参照)「彼の勇気に心を引かれます。」彼女は、たとえ周囲の人々からあざけられても、自分の証に忠実であり続けた若い預言者の態度をすばらしいと思っています。

ホセレンはニーファイも尊敬し、このように言っています。「兄弟たちに阻止されても、屈しなかったニーファイの勇気に感動しました。」(1ニーファイ3:14-21;4:1-4参照)。

ホセレンは今、もう一つの夢にチャレンジしていて、それは

大好きな趣味である音楽に関連しています。ホセレンと妹のイリアナは最近、オルガン講師の資格を取得しました。ホセレンは、初等協会の歌から映画音楽まで、様々な曲を演奏するのが大好きです。また、音楽鑑賞、特にモルモンタバナクル合唱団の音楽を聞くのも大好きです。

「悩みがあるときには、賛美歌が心に浮かびます」と彼女は語ります。「賛美歌を通じて答えを見いだすことができます。」自宅から遠くない支部の集会所で平日行われるセミナーにはいつも出席します。「時々早く行って、ピアノの前に座り、賛美歌を演奏します。」

総大会の放送があるときには、タバナクル合唱団の前奏曲に耳を傾けることができるように早めに出かけます。

地球上のほとんどの人が実際に行くことのない南極大陸に行ったホセレンにとって、訪れたい特別な場所のほかにもあるのでしょうか。

「総大会に行って、合唱団の歌を聞きたいです」と彼女は語ります。

それは実現できるかもしれません。世界の底に行くことのできたホセレンにとって、何にせよ頂上を目指すのに、妨げるものは何もないでしょう。■

下——ホセレン(赤い服)と母のラケル、父のルベン、妹のイリアナ。

中央——ホセレンと旅行の記念品。

右——キーボードを練習するホセレン。



地球上のほとんどの人が実際に行くことのない南極大陸に行ったホセレンにとって、訪れたい特別な場所は他にもあるのでしょうか。

「総大会に行って、合唱団の歌を聞きたいです。」

ふさわしくなり、 神殿での礼拝に参加する



訪問先の姉妹たちの必要に合った聖句や言葉をお教えください。その教義について証してください。あなたが教える人々に、感じたことや学んだことを分かち合うように勧めてください。

神殿での礼拝に備えるにはどうすればよいでしょうか。

中央扶助協会第一顧問 シルビア・H・オールレッド——「神殿は主の宮です。ですから、神殿を用いるための条件や、神殿で行われる儀式、そして、……参入……する人々に求められる資格などは、すべて主が定めておられます。……個人のふさわしさは、神殿の祝福を受けるために不可欠な条件です。戒めに従い、神の御心を行おうと努力することによって、自らを備えます。」（『聖なる神殿、神聖な聖約』『リアホナ』2008年11月号、113）

十二使徒定員会 デビッド・B・ヘイト長老（1906-2004年）——「神殿に参入しようとする人は、主の家で〔受ける〕食事を十分に味わうにふさわしくなるよう生活しなければなりません。わたしたちは神権指導者との……面接で、神殿参入に当たっての自分のふさわしさを吟味します。神殿推薦状に書かれた自分自身、ならびに神権指導者の署名は、わたしたちに神殿に参入する資格があることを証明するもの

です。」（『主の家に来れ』『聖徒の道』1992年7月、16）

ふさわしくなり、神殿での礼拝に参加することで、どのような祝福がもたらされるでしょうか。

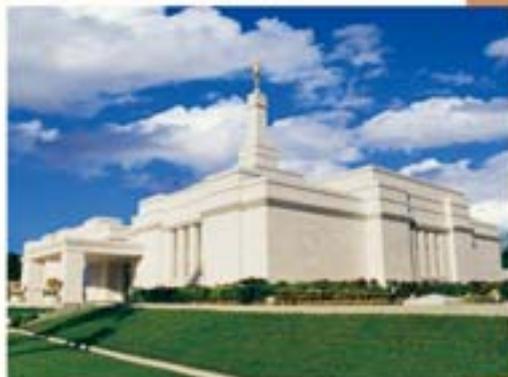
教義と聖約110：7——「わたしはあわれみをもってこの家でわたしの民にわたし自身を現すであろう。」

ハワード・W・ハンター大管長（1907-1995年）——「時間的、経済的、個人的な事情の許すかぎり、頻繁に、速やかに神殿に行きましょう。それも亡き親族のためだけでなく、神殿での礼拝に伴う祝福を自分自身が受けるために、また奉獻された壁の内側で授けられる聖めと安らぎを受けるために参入しましょう。神殿は麗しい場所であり、啓示を受ける場所であり、平安の宿る場所です。」（『教会員の大きな象徴』『聖徒の道』1994年11月号、6）

教義と聖約38：32——「わたしはそこであなたがたにわたしの律法を与えよう。あなたがたはそこで、高い所から力を授けられるであろう。」（教義と聖約95：8も参照）

十二使徒定員会 ロバート・D・ヘイルズ長老——「神殿のエンゲウメントから受ける祝福は、バプテスマの場合と同様、わたしたち一人一人にとって不可欠なものです。この理由で、わたしたちは自らを備え、神の宮に参入するために清くならなければなりません。神殿の業は、自分自身の生者のための

エンゲウメントを受け、聖約を交わす機会であるだけでなく、死者の贖いのために同様の儀式を執行する機会です。だからこそ、神殿を建て、神殿での神聖な儀式と聖約にあずかるにふさわしくなるように自らの生活を備えなければならないと聖文で教えられているのです。……



神殿のおもな目的は、日の栄えの王国で昇栄するために必要な儀式を提供することです。神殿の儀式はわたしたちを救い主のもとに導き、祝福を与えてくれます。この祝福はイエスキリストの贖いを通してもたらされます。」（“Temple Blessings,” Brigham Young University 2005-2006 Speeches [2006年], 1, 4）

ゴードン・B・ヒンクレー大管長（1910-2008年）——「誠意と信仰をもって神殿に行くすべての人が、参入する度にさらに成長した人となって出て来ることに、わたしは喜びを覚えています。わたしたちは皆、常に、進歩を必要としています。時にはこの世の喧噪を離れて、神の神聖な宮の中に足を踏み入れ、神聖さと平安の中に主の御霊を感じる必要があります。」（『伝道と神殿、そして管理の職』『聖徒の道』1996年1月号、60）■



正直さのテスト

パトリシア・A・ジェイコブズ、フランシーニ・プレゼンサ

パトリシア——ブラジルにあるわたしたちの学校では、親友のフランシーニとわたしだけが教員です。そのため、小さなことが周りに大きな影響を与えることがよくあります。

ある土曜日、二人が一緒に取っている数学の授業でちょっとしたことが起きました。その日、フランシーニは学校を休んでいました。授業中に、数日前に行われた試験の答案が戻って来ました。先生がフランシーニの答案をわたしの机の上に置いて、フランシーニに渡すように言ったとき、わたしはあまり注意して聞いていませんでした。

試験が終わったときにすでに出来栄えについて話し合っていたので、フランシーニの点数がわたしたちの予想より高かったことに驚きました。よく見ると、一つの問題の採点が間違っていることに気づきました。わたしはとっさに、フランシーニの点数は高すぎると先生に言いました。

数学の技能や
友情ではなく、
わたしたちの
正直さが
試されました。

クラス全員がわたしに注目したことに気づきませんでした。わたしの発言を聞くと、クラスメートたちが非難の声を上げ始めました。友達にそのようなことをするのは間違っている、自分が人よりも良い点数を取りたいだけだと責め立てたのです。

わたしはみんなの反応に困惑し、傷つきました。もしフランシーニがいればわたしのように採点の間違いを指摘したに違いありません。ところが、自分に点数が下がるのを知っている人が、自分からそこまで正直になる人はいないと、言う生徒もいました。わたしが友達を裏切ったと皆が思っていました。わたしは、フランシーニならきっと自分の成績について正直であったこと、そしてほんとうに正直な人がまだ世の中にいることを理解してもらおうとしました。

長い討論の末、先生とクラスみんなはわたしとフランシーニを試すことにしました。フランシーニの採点を修正しないで、月曜日に彼女の反応を見ようと先生は言いました。

わたしは賛成できませんでした。フランシーニを試すことが公正なことに思えなかったのです。しかし先生が決定した以上、それを覆すことはできませんでした。

フランシーニが正しい行動を取ると確信していたものの、どうなるかとその週末は不安で仕方ありませんでした。彼女が答案の採点ミスに気づくよう、熱烈に祈りました。

月曜日になって数学の授業が始まると、クラス全員ががたがたをのみながらフランシーニが答案を受け取るのを見守りました。

フランシーニ——授業が始まって間もなく、先生から数学の答案用紙を受け取りました。内容をよく確かめないうちに手をおろしましたが、予想より採点が高いくことに気づきました。手を挙げて、先生のところに行きました。採点が間違っていないかと尋ねると、先生は間違っていないと言いました。わたしは答案用紙を指して言いました。「でも、この答えは間違っています。」そのとき、パトリシアも先生の前に進み出て、自分の答案にも採点ミスがありました。混乱していたため、土曜日にそのことに気づかなかったというのです。

次の瞬間、クラス中が寝を切ったように騒ぎ出しました。一部の生徒は、パトリシアがわたしの点数を下げようと告げ口をしたと小声でつぶやき始めました。ほかの生徒はきまり悪そうな笑みを浮かべていました。一連の出来事に対する周囲の反応にわたしは困惑しました。

後になって、土曜日に何があったかパトリシアが説明してくれました。自分がいつの間にか数学と関係のない試験を受けていたこと、そしてクラスのみんがパトリシアに対してそのような態度を執ったことにわたしは驚きました。でも、自分が正直であったこと、そしてパトリシアの祈りによって採点ミスに気づけたことがうれしいです。わたしの友であるパトリシアがわたしを信頼してくれたことにも感謝しています。

パトリシアとフランシーニ——わたしたちはこの経験から大切な教訓を学びました。イエス・キリストの証人となり、主の原則の模範となるという末日聖徒の大切な役割に対する証あかしが強められました。わたしたちは福音が与えられていることを主に感謝しています。福音によって人々に良い影響を及ぼす機会が与えられているからです。■

慎み深さ あらゆる人に 与えられた 不変の原則

中央扶助協会会長第一顧問
シルビア・H・オールレッド



服装は、
わたしたちが
イエス・キリストの
福音をどう
理解しているかを
表します。

慎みが著しく失われている世の中にあって慎み深くあるという原則に従うことは、末日聖徒イエス・キリスト教会こんにちの会員が今日直面する難題の一つとなっています。どんなに困難でも慎み深さについて教会の標準を守ることにより、わたしたちが救い主イエス・キリストの弟子であることを示すことができます。慎み深さには服装、言葉遣い、思い、行動が含まれますが、今回は服装に焦点を絞って考えてみたいと思います。

元来、衣服の第一の目的は体を覆い、自然環境から体を守ることにありました。今日もその目的は失われていないものの、衣服の目的はより多様化しています。現代の衣服は、富、社会的地位、個性、帰属などを表す手段にもなっています。さらに、服装は物事への態度や価値観をも表します。末日聖徒にとって、服装は自分がイエス・キリストの福音をどう理解しているか、そして福音をどう思っているかを示します。

世は、わたしたちが何者でどのような人物になろうとしているかを見失わせようとします。世の中で慎み深さの原則を守ることは自信を深める手段となります。この原則を守り、教えることによって、次世代の人々が同じ自信をはぐくむのを助けることができます。

慎み深さとは何でしょうか

小冊子『若人の強さのために』には慎み深さについての基本的な指針が記されています。この小冊子は青少年にも、成人にも有益です。「慎みのない服装とは、丈の短いショートパンツや丈の短いスカート、体にぴったりとした服、おなかを露出したシャツ、そのほか肌があらわになるような衣装です。……女性は肩を覆う服を着用し、胸元や背中が見えるローカットのえりや露出度の大きい服を避けるべきです。……男性も慎みのある外見を保つ必要があります。極端な服、外見、整髪は……避けてください。いつも身だしなみを整えて清潔にし、だらしなく、不適切な服や身だしなみ、態度は避けるようにしましょう。『主の前に出てもおかしくない外見だろうか』と自問してみてください。』¹

慎みのある衣服を選ぶときに御霊みたまの導きを求めてください。さらに、慎み深さと関連のある原則について深く考えるときに、以下のように具体的に自問するとよいでしょう。

- 座る、前にかがむ、腕を高く挙げる、階段を上がるなどの動作をするときに体が見え過ぎていないだろうか。
- 露出度の大きい、派手な服を着ることによって周囲の注目を集めていないだろうか。

マネキンになってはいけません



マネキンはこの世が売り込もうとしているものを着ます。
あなたの標準はそれよりも高いはずです。

- ある特定の衣服を着るために神殿のガーメントの長さを短くしたり、たくし上げたり、形を変えたりする必要が生じないだろうか。

なぜ慎み深くする必要があるのでしょうか

慎み深くあるという原則の基盤となっている教義をよく理解すると、それは美德であり、度を越した行動をしないよう導くものであるということが分かります。

慎み深さの根底にあるのは、わたしたちが神の形に創造された神の子供であるという教義です(モーセ2:27参照)。わたしたちの肉体は天の御父から授かった神聖な賜物^{たまもの}であって、御父の定められた特別な目的があります。肉体を受けたわたしたちは、御父が命じられたように体を扱うことによってこの賜物への感謝を表します(教義と聖約88:33参照)。天の御父のようになるために肉体とその使い方を身に付け、抑制し、制御することを学ぶのです。

あなたの標準、縮んでいませんか



もし、その衣服が体にぴったりとしすぎていたり、丈が短かすぎたり、露出度が大きすぎたりしたら、それは教会の標準に合っていません。世の中に合わせようと自分の標準を下げてはなりません(『若人の強さのために』, 14-16参照)。

時の初めより、主は御自身の子供たちに対して体を覆うよう命じてこられました。アダムとエバは禁断の実を食べた後、その目が開かれて、自分たちが裸であることに気づきました。そしてイチジクの葉で作った簡素な前掛けで体を覆いました。しかし前掛けでは不十分だったため、主は二人のためにもっと慎みのある皮の着物を造られました(創世3:7, 21参照)。

神は当時から現在と同じ高い標準をお持ちでした。神の標準は世の標準とは異なります。イザヤ書第55章8節から9節で御自身が述べておられるとおりです。

「わが思いは、あなたがたの思いとは異なり、わが道は、あなたがたの道とは異なっていると主は言われる。

天が地よりも高いように、わが道は、あなたがたの道よりも高く、わが思いは、あなたがたの思いよりも高い。」

不変の原則

慎み深さは主の「高い道」であり、一時的な流行ではないため、時代を問わず教えられてきました。聖典から衣服に関する以下の例を読んで、これらが慎み深さについて何を教えているかを考えてください。

慎み深さは謙遜さを表す。モルモン書の預言者ヤコブは、高慢や富への執着を非難しました。ヤコブは高慢によって自分を滅ぼすことのないよう民に警告しました。彼らの高慢な心が衣服にも表れていたのです。ヤコブはこう語りました。「このようにしてあなたがたは、神の御心の御手があなたがたにほほえんで、たくさんの富を手に入れた。ところがある者たちは、ほかの者より豊かに富を得たことで心が高慢になり、また自分の衣服が高価なことで強情になって高ぶり、さらに、自分はほかの者よりも優れていると思って同胞を苦しめている。」(モルモン書ヤコブ2:13)

謙遜さが服装に表れることについて、教義と聖約第42章40節にはこう書かれています。「さらにまた、あなたは心の中で高ぶってはならない。あなたの衣服はすべて簡素で……あるようにしなさい。」これはおしゃれな服装をしてはいけないということでしょうか。いいえ、その時その時にふさわしい服装をすべきですが、ブランドや最新の流行に心を奪われてはならないという意味です。もっと永続する、意味のあることにお金を使う方がよいのです。

服装は主に対する敬虔な思いを表す。主は、主の聖なる宮で使うにふさわしい聖なる衣服を用意するようモーセに命じられました(出エジプト28:2参照)。この戒めから、神聖なことに携わるときに普段着はふさわしくないと主が考えておられたことがはっきりと分かります。わたしたちもモーセのように、礼拝にふさわしい服装をすることで天の御父への愛を表しているでしょうか。

以上の例が示すように、「神の預言者は、いつも神の子供たちに慎み深い服装をするよう勧告してきました。」²

現代のわたしたちも次のような勧告を受けています。「身に着ける服によって人柄が示されます。あなたの服装や身だしなみはあなたについてのメッセージを人々に伝え、自分や周囲の人々の行いに影響を与えます。適切な身だしなみや慎み深い服装を心がけるなら、御霊が常にとどまり、周囲の人々に良い影響を与えることができます。」³

慎み深さに伴う祝福

慎み深さに伴う最大の祝福の一つは、自信が増すことです。ある姉妹は、友人が福音を学ぶ過程で慎み深さの原則を理解し、それによって祝福を受けたことについて紹介してくれました。



標準

「何年か前の夏のこと、勤め先の同僚と一緒に教会へ行くことになりました。彼女は約束の時間までに我が家にやって来ました。彼女が着ていたのは、温暖な気候のわたしたちの地域では昔からよく着られている、ノースリーブのサンドレスでした。わたしは、教会のためにワンピースを着て来た彼女の心遣いに感謝しながら、一緒に教会に向かいました。ワードの会員たちは彼女を歓迎してくれ、彼女はそれからの数週間何度か教会に出席しました。家庭・家族・個人を豊かにする集会にも出席し始め、子供たちを初等協会や青少年の活動に連れて来るようになりました。夏の暑い日に行われた週日の活動に出席するとき、彼女はいつもノースリーブのブラウスと、丈がももの半分のショートパンツ姿でした。品のない感じはしませんでした。まだ末日聖徒の標準を理解していないことが明らかでした。

それから数週間が過ぎたとき、わたしはその友達に、宣教師から教会についてもっと聞いてみないかと尋ねました。恥ずかしがり屋なので、知らない人と話すのが苦痛だと彼女は言いました。ただワードの礼拝や活動に出席し続けたいと思っていること、そしてもし分からないことがあれば、わたしや、すでに親しくなっていたワードのほかの人に必ず尋ねると言うのでした。

興味深いことに、彼女は教会と教会の活動に出席し続けているうちに、長めのスカート、長めのショートパンツ、そで付きのシャツを着るようになっていきました。最初は秋が近づいているせいかと思いましたが、彼女が周りの末日聖徒の服装に気づいたためであることがそのうち分かりました。

彼女が次第に自信を増していることにわたしは気づきました。服装を変えたことだけが自信を増すきっかけになったかどうかは分かりませんが、少しは関係があると思います。神の娘として神聖な資質を受け継いでいることなど、福音の原則を学んでいくうちに、自分自身対



する価値観が高まったのでしょうか。教会員の行動の基となっている理由を理解するにつれて、彼女の自信は増しました。そして自信が深まると、彼女は福音についてもっと知りたくなりました。以前は恐れていた宣教師からのレッスンも受けたくなくなったのです。

服装は、彼女が福音の原則と標準を知り、理解する過程のほんの一面にすぎませんでした。けれども、生活の一部を変えられることに気づいたとき、もっと大きなことも変えられることが分かったのです。この変化によって最終的にイエス・キリストの福音に帰依し、教会に加わることになりました。後に神殿でエンダウメントを受けましたが、洋服だんすの中身を変える必要はありませんでした。慎み深くあるという原則をすでに実行していたからです。」⁴

左一写真/クレーク・グレン・テイランド。右一写真/エドワード・リッチャー・マンソン・スミス

ふさわしい衣服

適切な服装をしましょう。判断を誤ってつますかないようにしましょう
(『若人の強さのために』, 14-16参照)。

高い目標を持つ

主はあなたに主の宮に入る備えをするよう求めておられます。
そこには大きな平安とすばらしい祝福があります
(教義と聖約88:119参照)。

慎み深さという徳が生活の中でわたしたちの行動を制御し、節度あるものにするとき、自分をもっと価値ある存在だと感じるようになります。教義と聖約第121章45節から46節にある約束を思い出してください。

「またあなたの心が、すべての人に対して、また信仰の家族に対して、慈愛で満たされるようにしなさい。絶えず徳でああなたの思いを飾るようにしなさい。そうするときに、神の前においてあなたの自信は増し、神権の教義は天からの露のようにあなたの心に滴るであろう。」

聖霊は常にあなたの伴^{はんりよ}侶となり、あなたの^{しやく}筋は義と真理の不変の筋となるであろう。」

わたしたちが皆、この祝福を受けるにふさわしくなるよう努力できますように。■

注

1. 『若人の強さのために』(小冊子, 2001年), 15-16
2. 『若人の強さのために』, 14
3. 『若人の強さのために』, 14-15
4. 個人的な書簡

あらゆる人に 共通の標準

イギリスのあるステーキの成人たちは、
『若人の強さのために』に心を留めることによって
祝福を見いだしています。

デビー・ツイガー

サラ・エドワーズ姉妹, エミリー・ボウルズ姉妹, エレナ・マッキー姉妹はショッピングが好きです。イングランドのノーサンプトンで衣料品店を訪れるとき、この若い末日聖徒の女性たちはお金のほかに、ある小冊子を持って行きます。彼女たちの親も衣服を買ったり、映画を見たりするときにこの小冊子を指針として活用しています。

イングランド・ノーサンプトンステーキでは10代の若者と同様、成人の生活の中にも『若人の強さのために』が溶け込んでいます。この小冊子は親たちが視聴する映画やテレビ番組、参加する活動を検討するときに助けになります。また、ある人にとっては安息日を正しく守って家族と楽しく過ごすうえで役立っています。事実、このステーキの成人会員は自分たちにも役立つこの小冊子を『わたしたちの強さのために』と呼び始めています。

昨年ステーキ会長から解任されたクライブ・ジョリフ会長はこう話しています。「家族が福音の中で成長し、子供たちが伝道と神殿結婚に向けて準備するために、どのように助けたらよいか話し合い、祈りました。わたしたちは靈感によって、小冊子『若人の強さのために』を使うことにしました。一人一人に幸福と喜びをもたらす標準をすべての家族に理解してほしいと思いました。」

ステーキの青少年はこの取り組みによって自分の家族に変化が起きたことに気づき、感謝しています。「標準を維持することはほんとうに大切です。わたしたち青少年は成人を模範



**サラ・エドワーズ姉妹, エレナ・マッキー姉妹,
エミリー・ボウルズ姉妹は衣服を買うときに、
『若人の強さのために』を指針としています。**

としています。『若人の強さのために』はわたしたち全員が従わなければならない標準を成人にも思い起こさせてくれます」と19歳のエレナ・マッキーは言います。「この小冊子は、自分に期待されていることを思い起こし、標準は一つしかないことを確認するために役立っています。」

ハンティンドンワードに所属する17歳のダニエル・キツェル兄弟はこう付け加えています。「ぼくが『若人の強さのために』を気に入っているのは、青少年だけでなく、自分の両親もこれに従っているからです。この小冊子は両親にとっても標準を守る助けになっています。」

バンベリーワードのリチャード・オーガービショップと妻のジル姉妹、そして最近イングランド・ロンドン神殿で結婚した娘たちのハンナ姉妹とシャーロット姉妹は、小冊子の中にある勧告に従うことにより特別な力を実感しています。テムズバレー警察の警部であるオーガービショップは、世の中の標準が低く、それが青少年とその行動に影響を及ぼしていることを切実に感じています。「ジルとわたしは『若人の強さのために』を使って、聖文に基づいて子育てをする方法を学びました」とビショップは言います。

「娘が10代のころ、わたしたちはこの小冊子を指針とし、また様々な方法で活用しました。娘たちから自分の洋服を買いたいと言われると、わたしたちは心配だったので服を選ぶ際に参考にできるように『若人の強さのために』を持たせました。」

21歳のハンナはこう言います。「わたしたちはこの小冊子をバッグに入れて持ち歩きました。何が適切で、何が適切でないかがはっきりと書かれているからです。」二人は自分たちの持っている洋服の一部を少しリフォームしたり、アクセサリを添えたりすることによって慎みのあるものに変えられることを知りました。19歳のシャーロットはさらにこう語り

ます。「ハンナとわたしは両親の決めたことを押し付けられていると感じたことはありません。両親は預言者と救い主に従っていたので、わたしたちが両親に従えば救い主の教えに従うことになるのだと分かっていました。」

この小冊子は慎みに関する標準とメディアの賢い選び方を明らかにするだけでなく、安息日を守ることにについて預言者の勧告に心を向けるためにも役立つと多くの成人が言います。ケタリングワードの扶助協会会長であるスー・ブリース姉妹は、『若人の強さのために』は「完成に向かって努力するためのツールとして活用できる」と言います。「これらの指針は18歳になったら必要なくなるわけではありません。それ以降も、自分の現状を評価するように促してくれます。わたしはこれまで、生活の中で天のお父様に近づくために欠かせない修正をしてきました。例えば、安息日を守る方法を少し変えただけで、安息日がほんとうの意味で安らぎの日となったのです。」



**オーガー家族——シャーロット姉妹, ジル姉妹, リチャード兄弟,
ハンナ姉妹は長年、親子でこの小冊子を使って
標準について話し合ってきました。**



ジョシュ・レーノルズ兄弟は日曜日にスポーツ活動に参加するかどうかの選択を迫られたとき、両親の良い模範と教えのおかげで正しい決断を下すことができました。

頭角を現していました。しかし、地元のチームで仲間と一緒にプレーをしようと思ったときに問題が生まれました。試合は日曜日に組まれていたのです。「両親はわたしたちが教会員として安息日を聖く過ごす必要があるのはなぜか、またどのように過ごすべきかについて説明してくれました。すばらしい模範を示して、安息日を聖く保つように教えてくれた両親に心から感謝しています。」

ケタリングワードで5人の子供を持つヘザー・スラッテリーはこう言います。「時折、親としてまた成人として、これらの標準を青少年だけのものだと思い込み、わたしたちも若人と同じように誘惑にかられることがあるのを忘れてしまうことがあります。『若人の強さのために』はわたしたちが若人の傍らで彼らと一緒に鉄の棒にしっかりとつかまり、天の御父の子供として互いに強め合い、支え合う努力をする必要があることを思い起こさせてくれます。」

ノーサンプトンステークの会員たちは『若人の強

さのために』の指針に従うことにより、個人としてまた家族として強くなっているのを確かに感じています。ジョリフ会長は自分の思いを次のようにまとめています。「この小冊子は靈感によって与えられたものであり、天の御父が御自身の子供たちに期待しておられることがはっきり理解できるように簡潔に書かれています。子供たちがわたしの模範に従おうと思えるように、わたし自身も標準に従って生活するよう努力してきました。この小冊子には、御父が用意しておられるすべての賜物ものを受けるためにどのように生活すべきかについて、明確な勧告が述べられています。わたしにはそのことに対する強い証あかしがあります。」■

さのために』の指針に従うことにより、個人としてまた家族として強くなっているのを確かに感じています。ジョリフ会長は自分の思いを次のようにまとめています。「この小冊子は靈感によって与えられたものであり、天の御父が御自身の子供たちに期待しておられることがはっきり理解できるように簡潔に書かれています。子供たちがわたしの模範に従おうと思えるように、わたし自身も標準に従って生活するよう努力してきました。この小冊子には、御父が用意しておられるすべての賜物ものを受けるためにどのように生活すべきかについて、明確な勧告が述べられています。わたしにはそのことに対する強い証あかしがあります。」■

『若人の強さのために』を活用するためのアイデア

- この小冊子の中のテーマを採り上げて家庭の夕べで定期的に読み、話し合う。
- ビショップまたは支部会長の承諾を得たうえで、扶助協会と神権定員会集会の第1日曜日のレッスンでこの小冊子について学ぶ。
- 家族にそれぞれ自分用の小冊子を携帯し、正しい選択をするために活用するよう奨励する。
- この小冊子の指針に添って青少年の活動を実施する。
- 小冊子の中にある指針をシングルアダルトの活動のテーマとして採り上げる。
- 衣服を買うとき、映画を選ぶとき、活動を計画するときこの小冊子の指針を参照する。
- ワードやステークの定例のファイアサイドでこの小冊子のテーマを採り上げる。



将来のすばらしい事柄

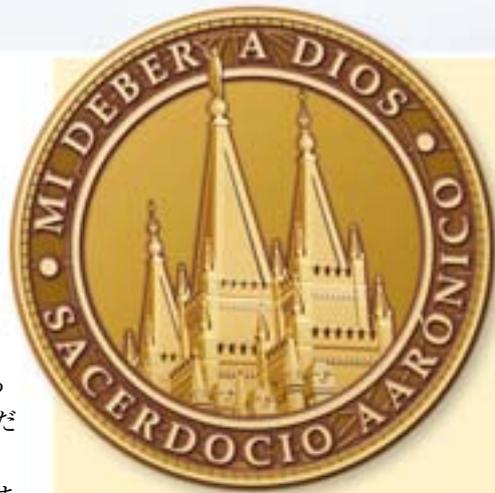
リア・マクラナハン

「まだ、だれか起きていますか。」最初にそう尋ねたときは、二人のささやき声が確かに答えてくれました。しかし、それから数時間たった今は、返って来るのは沈黙だけです。わたしは部屋の中でただ一人眠れずにいました。

それは宣教師訓練センター(MTC)で迎えた最初の夜でした。その日、わたしは両親に別れを告げ、一緒にイタリアに向かう同僚やほかの新しい宣教師と顔を合わせ、最初のクラスに出席しました。体は疲れ切っていましたが、不安で頭がさえて眠れませんでした。「わたしはとんでもない所に来てしまったのではないかしら。」わたしは何度も何度も自問しました。ほんとうに自分が宣教師になれるのか確信が持てませんでした。外国へ飛び立ち、知らない人に福音について話す勇気がわたしにあるのでしょうか。おそらく、わたしはここに来るべきではなかったのです。涙が頬(ほお)を伝って流れ始めました。

そのとき、母がラリーおじさんについて話してくれたことを思い出しました。母の兄弟であるラリーおじさんは1970年代にウルグアイとパラグアイで伝道しました。最初は、自分の力不足に心を悩ませ、何日も眠れない夜を過ごしたそうです。これ以上堪えられないと思ったとき、ラリーおじさんは、ベッドから起き出して、バスルームに入ると、ひざまずいて天の御父に祈り、平安を願い求めました。こうして主の助けを受けたラリーおじさんは、何とか不安を乗り越え、忠実に伝道の召しを果たしたのです。

ラリーおじさんの経験について考



えているうちにわずかな希望を感じたわたしは、そっと廊下を通り抜けてバスルームに向かいました。薄明かりの中、冷たいタイルの床にひざまずき、泣きじゃくりました。前進する勇気を持てるように、平安を与えてくださいと天の御父に懇願しました。

わたしは待ちました。何も起こりません。もう少し待ちましたが、聞こえるのはわたしの泣き声だけです。とうとう、なすすべがないまま、わたしはベッドに戻りました。

祈りへの答えは眠りに落ちる直前に訪れました。御霊によって、見たことのない美しい町の、明るく、温かいイメージが心いっぱいに広がりました。そのとき突然、わたしには分かったのです。最初は恐れを感じ、つらい時期を過ごすかもしれませんが、前進するなら、主がわたしを導こうとしておられる場所にたどり着くことができると。そう考えると、心は平安に満たされ、わたしはやがて眠りに就きました。

御霊は、将来のすばらしい事柄について示唆を与えてくださいました。宣教師訓練センターで過ごす間、困難な時期にあっても、目を閉じると、そのとき感じたことが思い出されました。祈り、熱心に働くことによって、わたしは恐れを克服していきました。

それから間もなくして、わたしは新しい同僚とともにイタリアのジェノバにいました。わたしたちが住むアパートの台所には、バルコニーに続くガラス張りのドアがありました。バルコニーに出て、町並みを眺めました。その町は、わたしにとってすでに馴染みのある、愛すべき町でした。それは、宣教師訓練センターで過ごしたあの夜、まさしくわたしが心の目で見た場所だったのです。ジェノバの町並みを目にするこの瞬間へと、主がわたしを導いてくださったのが分かりました。わたしは、わたしのいるべき場所にいたのです。■

変わるチャンス

アンヘル・ルイス・サンチェス・ノタリオ

わたしが教会員になってから7年になります。これまでずっと、この教会が主イエス・キリストの唯一まことの教会であると知っていましたが、あまり活発でない時期がありました。

問題は家族が新しい町に引っ越したときに始まりました。集うはずの集会所の場所を見つけるのに数か月かかり、実際通い始めるまでに、さらに数週間が過ぎました。所属する集会所が変わったことでわたしはすっかり意気消沈し、数週間すると教会に行かなくなっていました。

ある日うれしいことに、突然ビショップが尋ねて来ました。ビショップは、教会に戻って、日曜日の集会やセミナーに出席するよう誘ってくれました。わたしはビショップの誘いを受けることにしました。

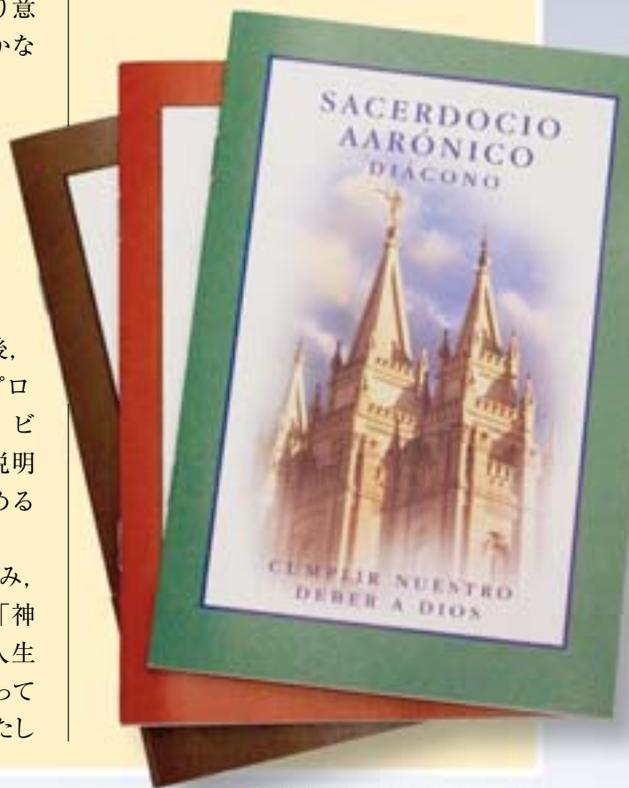
再び教会に集い始めて数週間後、ビショップは「神への務め」というプログラムについて教えてくれました。ビショップからプログラムの内容を説明してもらったわたしは、自分も始める気になりました。

わたしは小冊子に目標を書き込み、それを達成し始めました。やがて「神への務め」プログラムは、自分の人生をより良い方向に変える助けになると気づくようになりました。わたし

は教会の活動にもっと活発になり、セミナーに行くのが大好きになりました。教会の標準に従った生活をするよう努力していますし、聖文や『リアホナ』を読むのも大好きです。

「神への務め」プログラムを始めたとき、伝道に出ることやベネメリト・デ・ラ・アメリカという教会運営の予備学校に行くこと、そのほか多くの目標を立てました。去年の秋、わたしは「神への務め達成賞」とメルキゼデク神権を受けました。さらに、もうすぐ伝道に出る予定です。

自分を変え、主の教会の会員にふさわしくなる機会を与えてくださった天の御父に毎日感謝しています。わたしが変わるのを助けてくれた教会のプログラムや指導者に感謝しています。■



常に 努力する

七十八
オクタビオ・テノリオ長老



成功を取めたいなら、
集中力と努力を發揮し、
さらに
自分のしていることを
楽しむことです。

わたしが15歳のとき、宣教師が近隣の数家族と夕食を共にしていました。宣教師が毎日出入りするのを見て、姉は何か売りに来ているのかと尋ねました。宣教師はそうではないと答え、それがきっかけでわが家にも宣教師がやって来るようになりました。父と母、きょうだいたちがレッスンを受け、その全員がバプテスマを受けました。しかし、わたしは加わりませんでした。当時わたしはほかの教会について勉強していましたが、真剣に真理を求めていました。

メキシコでは5月10日は母の日です。その日に、母から「お母さんのこと、愛している?」と聞かれ、わたしは「うん、愛しているよ」と答えました。

母はわたしに証を伝え、バプテスマを受けるよう勧めました。こうしてわたしはその日、バプテスマを受ける決心をしました。次の日曜日、確認の儀式を受け、聖霊の賜物を授かりました。そのとき、わたしの人生は完全に変わりました。教会に関する書物で入手できるものは、すべて読むようになりました。特に、ジョセフ・スミスの教えについて熱心に読みました。すでに信仰を持っていたので、研究を進めるにつれて教会の教えを次第に受け入れるようになりました。福音を理解すればするほど、わたしの信仰も強められました。

努力する

わたしの人生から二つの出来事についてお話しする前に、わたしが伝道部会長として働いていたときによく宣教師たちに話した事柄につ

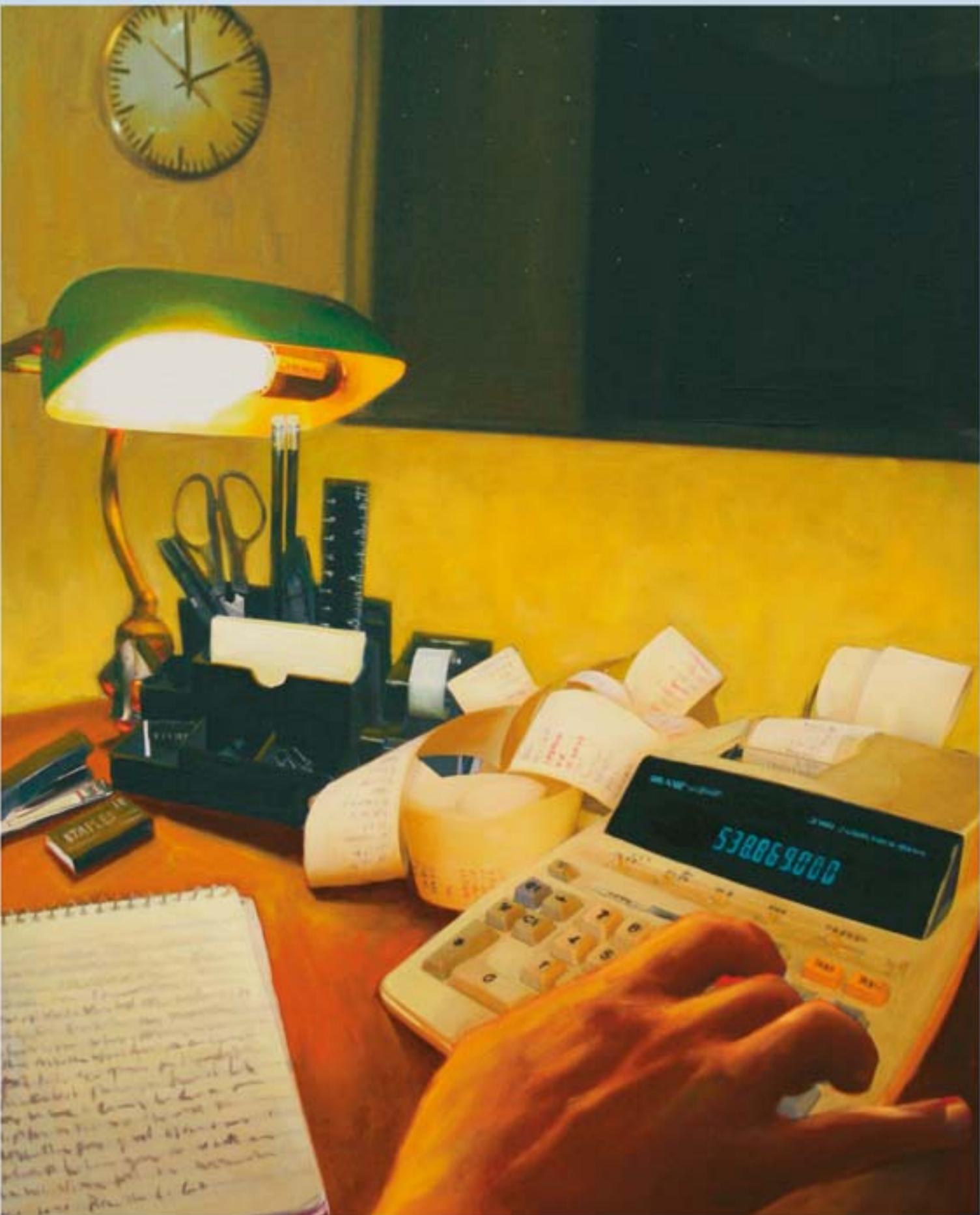
いて強調したいと思います。『わたしの福音を宣べ伝えなさい』の中で、エズラ・タフト・ベンソン大管長(1899 - 1994年)の次の言葉が引用されています。「しばしばお話ししてきたことですが、伝道を成功に導く最大の秘訣の一つは、働くことです。働く宣教師は御霊を受けることができます。御霊を受ける宣教師は御霊によって教えます。そして御霊によって教える宣教師は、相手の心の琴線に触れ、自らも喜びを得ることができるのです。時間、能力、関心のすべてを注ぐのですから、ホームシックも家族への心配もありません。働いて、働いて、働く——これが秘訣です。特に伝道に関しては、これに代わり得るものはありません。」¹

『わたしの福音を宣べ伝えなさい』が導入される前に使われていたスペイン語版の宣教師ガイドの中では、「働く」という言葉が「努力する」と訳されていました。努力することに加えて、自分の時間や才能、関心のすべてを集中させる必要があります。この集中力は、成功に欠かせないものです。そして、怒りに身を任せるより、喜びを感じている方が、あなたの努力は良い結果を生むのです。

わたしはこの公式を自分自身の人生で習得しました。バプテスマを受けて間もなく、大きな石油会社で働き始めたわたしは、働くことに関するこの真理を生活に取り入れることにより、会社において成功を取めるようになりました。

訓練はチャンスを生み出す

社内で大きな権限を持つマネージャーがい



ました。そのマネージャーは、棚卸しをするに当たり、補助要員を二人ずつ各部署から派遣するよう要請しました。彼が示した唯一の条件は、会計について多少の知識がある人物ということでした。

わたしは職業訓練学校で学んだことがあり、会計クラスの終了証明書を持っていました。わたしは部長から「マネージャーのところに行って、君が棚卸しを手伝うことと、自分が会計士であることを話しなさい」と言われました。部長は、わたしがまだ若かったので、ほかの人がどんな反応をするか見なかったのです。

マネージャーのところに行くと、何の用かと尋ねられたので、「棚卸しを手伝いに来ました」と答えました。

部長の指示どおり、自分が会計士であることを話すと、彼は笑って言いました。

「それでは会計士くん、わたしの席に座って、この計算機でここにあるすべての数字をできるだけ速く合計してみたまえ。」

わたしが指一本でゆっくりと計算し始めると、彼はわたしをいすから押しのけて言いました。「きみは何も分かっていない。罰としてわたしの前に座って、2週間わたしの仕事ぶりを見ていなさい。」

わたしが別のいすに移ると、彼は「見ていたまえ」と言って、自分の手を見もせず、ものすごい速さで計算し始めました。わたしは感心するばかりでした。2週間ずっと彼の仕事を見させるというのは冗談だと思いましたが、彼は本気でした。

最初の日、わたしは6、7時間、マネージャーの机の前に座っていました。その日の晩、仕事が終わってからも会社に残り、皆が帰るのを待ちました。それからマネージャーの部屋に行き、計算機の巻紙を交換し、すでにマネージャーが計算した数字を使って練習を始めました。何時間も努力を続けるうちに、だんだん速く計算できるようになりました。やがてマネージャーと同じか、あるいはもっと速くできるようになったと感じたとき、1、2時間眠るためにその場を離れました。

翌朝顔を洗い、会社の表玄関が開くとすぐにいったん外に出て、マネージャーが出勤して来た後で再び建物の中に入りました。マネージャーの部屋の扉をノックすると、彼は「よし、そこに座って、わたしの仕事を見ていなさい」と言いました。

マネージャーは計算機で加算し始めましたが、そのスピードがわたしには遅く思えました。何しろわたしは7時間もの間、休みなく練習したのですから。わたしはマネージャーを優しくわきに寄せ、わたしのいすに座るようお願いすると、すさまじい速さで加算し始めました。マネージャーは驚いて目を丸くしていました。

「いったい君は何をしたんだ。」マネージャーはそう言う、事の次第を説明するようわたしを問い詰めました。そして、こ

う言ったのです。「君はこの計算を習得してしまったのだから、これからはわたしと仕事をしたまえ。わたしの知っていることはすべて君に教えよう。」

わたしはマネージャーの部署に移りました。数年後、マネージャーは退職しましたが、彼の推薦のおかげで、わたしは彼の職を継ぐことができました。わたしは努力と集中力を発揮し、自分がしていることに喜びを感じました。最初、マネージャーから罰を受けたからといって、腹を立てたりしませんでした。

成功の鍵

皆さんは、良いことなら何でも行うことができます。必要なのはただ、努力と集中力を発揮し、楽しむことです。

勤めていた会社が閉業したため、わたしはメキシコ・シティーに引っ越しました。働くことが好きだったわたし

は、国際的な編集会社の臨時職に応募しました。

その編集会社は、わたしに在庫目録を作るよう命じました。それはわたしの専門分野でした。わたしはその会社で2週間、棚卸しをしました。その後、会社から正社員として高給で働くよう誘われ、わたしは同意しました。

当時わたしは英語が話せませんでした。テキサス出身でスペイン語をまったく話せなかった取締役はわたしの上司に言いました。「この青年の仕事ぶりはすばらしいものだ。英語が話せたら、もっと高い給料を払ってもいいだろう。訓練のためにニューヨークへ行かせよう。それすれば、ゆくゆくはこの会社のマネージャーになれるだろう。」

上司からそのことを告げられたとき、わたしは尋ねました。「わたしがすべきことは、英語を学ぶことだけですか。」

そのときわたしはすでに結婚していました。妻はメキシコの教会員集団居住地で生まれたので、英語を話すことができました。わたしが初めて英語でひと言話そうとしたとき、ある人からあきらめたほうがいいと言われました。わたしには語学の才能がまるでありませんでした。

しかし今回は、職場での昇進やニューヨークへ旅行するといった機会を手に入れたい思いに突き動かされました。わたしは、語学学校に行き、できるだけ早く英語が話せるようになりたいと申し出ました。

「今はどのくらい話せるのですか」と聞かれたわたしは

「ひと言も話せません。『おはよう』さえ知りません」と答えました。

すると学校の職員は言いました。「1日16時間の学習を2週間続ける集中コースがあります。ここで教師から8時間学び、後は自宅でテープを利用して8時間勉強するのです。受講料は1,000ドルです。」

わたしは「できると思います。休暇を願い出てみます。そ





うすれば2週間、毎日16時間勉強できますから」と答えました。

わたしは上司の所に行き、こう言いました。「わたしは2週間で、英語をマスターします。1,000ドル払っていただいただけでけっこうです。」上司は笑って言いました。「それは無理だろう。わたしは2年かかったんだ。」

そこでわたしはこう言いました。「わたしに2週間の休暇を与え、コースの授業料を支払ってくださるよう取締役に話していただけませんか。2週間後、彼と英語で話せなかったら、授業料は給料から差し引いていただいでけっこうです。」

上司は許可を与えてくれました。

わたしは語学学校に通い始めました。8時間の間、45分ごとに教師が替わりました。教師は、単語と文章と会話の練習を繰り返し、徹底的に教え込んでくれました。

学校で8時間勉強した後、通りに出て英語を話す旅行者を見つけては話しかけました。それから、さらに8時間テープの声に耳を傾け続けました。

学校に行ったいちばんの目的は、英語を学ぶことではありませんでした。マネージャーになってニューヨーク市に行きたいと本気で思っていたからです。高い志に突き動かされたからこそ、英語の学習が苦にならなかったのです。わたしは学ぶ一瞬一瞬を楽しみました。

224時間におよぶ学習を終えたとき、わたしは、英語で何とか会話できるようになっていました。試金石となるのは取締役との会話だと分かっていました。もしできなければ、1,000ドルを返却しなければなりません。そこでわたしは計画を立てました。学んだことすべてについて話そうと考えたのです。取締役の部屋に入り、20分間一方的に話し続け、彼には一言も口を挟ませませんでした。すると彼はこう言いました。「もうそれで十分だ。彼をニューヨークに送ってくれ。」こうして、わたしはニューヨークに行ったのです！

学ぶ経験

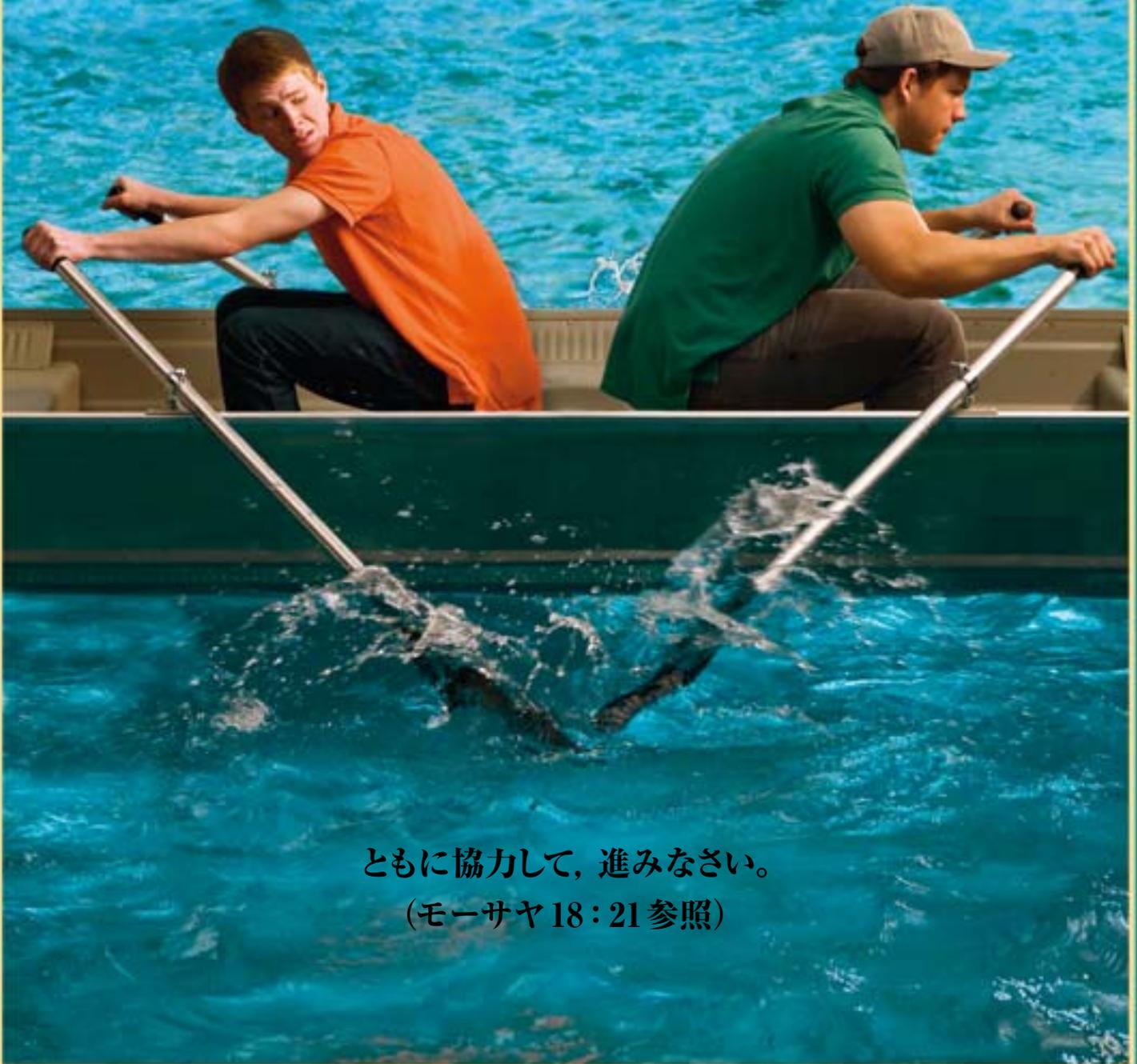
もし何かで成功を収めたいなら、集中力と努力を発揮し、さらに自分のしていることを楽しむことです。この方法を用いるなら、何でも手に入れます。多くのことを学び、価値ある目標なら何でも達成できるでしょう。たとえ難しくても、自分のしていることを楽しんでください。「働いて、働いて、働きなさい」というベンソン大管長の言葉のように、伝道や人生のあらゆる側面において、この方法を実践してください。■

注

1 .「わたしの福音を宣べ伝えなさい」、121

学校で
8時間学んだ後、
英語を話す
旅行者を見つけては
話しかけました。
計算機の使い方を
学んだときと同じように、
もう一步の努力を
重ねたのです。

力を合わせて



ともに協力して、進みなさい。
(モーサヤ18:21参照)

慈愛は心を満たす

フィオナ・マイリ

8歳と10歳になる娘たちは大きくなるにつれ、仲が悪くなる一方でした。互いに言い争ったり、意地悪な視線を交わし合ったりする娘たちを見るのは、母親として心痛むことでした。

このような状況にあって、わたし自身の弱さを助けてくださるよう、心から主に祈っていました。慈愛について必要な事柄を学べるよう助けを祈り求めたところ、すばらしい聖句を幾つか見つけることができました。

ある晩、わたしは娘たちのことで、とうとう怒りを爆発させてしまいました。平常心を失い、娘たちに向かって大声を上げ、どなり散らした後、心を落ち着かせて考えるために外に飛び出しました。数分後、御霊によって心が和らいできたわたしは、家に入って上の娘に謝るよう促しを受けました。最悪の感情をまともにぶつけてしまったからです。

娘の部屋に入ると、ベッドの傍らにひざまずいてすすり泣いている10歳の娘の姿が目に入りました。娘は目に涙を浮かべてわたしを見上げると「どうしたらいいのかわからないの」と言いました。気持ちが晴れるようお祈りをして聖文を読もうとしたけれど、あまりにも気分がふさいで、そうすることができなかつたというのです。

娘は自分が争いの種をまいたことでどれだけ

悲しい思いをしたか話した後で、お母さんは悪くないと言いました。それを聞いたとき、わたしはどんなにか恥ずかしく思ったことでしょう。しばらく二人で話した後、聖典を開き、わたしは慈愛すなわち「キリストの純粋な愛」について書かれた聖句を娘に読んで聞かせ（モロナイ7：47）、これまで自分が学んだことについて話しました。ちょうどそのとき、下の娘が部屋をのぞき込んだので、中に入るよう言いました。それから8歳の子供にも理解できる言葉で、慈愛について聖文で読んだことを説明してあげました。

わたしが話し終わると二人の娘は、目を大きく見開きわたしを見て、聖文に述べられているような愛にあふれた人になりたいと言いました。そこで、わたしたちはひざまずき、モルモン^{けんもん}の勧めに従って、そのような愛で満たされるよう謙遜に御父に願いました（モロナイ7：48参照）。

御霊に心動かされたわたしたちは、涙が流れるのをこらえることができませんでした。立ち上がって抱き合い、互いへの愛を伝え合いました。そのとき、永遠に続く姉妹愛と友情が娘たちの間に芽生えたのが分かり、わたしは慰めを感じました。

それ以来、娘たちの関係はより親密になっています。娘たちは互いの違いを理解し合い、より忍耐を示し、互いの物を分かち合おうと強く望んでいます。わたしは娘たちが義になつた望みを持ち、努力していることに感謝しています。

わたしはこれからもあのときの経験を大事に心に留めておくつもりです。わたしたちはこれからも家庭で慈愛のきずなを強めていきます。その中で、今後もこのような経験を重ねていけるよう祈っています。■

**わたしたちは
抱き合い、
互いへの愛を
伝え合いました。
そのとき、永遠に続く
姉妹愛と友情が
娘たちの間に
芽生えたのが分かり、
わたしは
慰めを感じました。**



小さな天国のような所

ロゼリ・デ・オリベイラ・リベイロ

1992年にバプテスマを受けてから、わたしたち家族は、あらゆることを一緒に行っていました。例えば、安息日の集会や教会の大会、その他の活動などには、いつも家族そろって出席しました。でも、時がたち状況が変わると、いつの間にか教会に行くのはわたしだけになりました。ほかの家族はだんだん教会に集わなくなっていたのです。それ以来、教会でだれかが永遠の家族について教えるのを聞くと、わたしの心は痛み、深い悲しみが押し寄せて来ました。

主が望んでおられることを知り、力を得るために、1995年にわたしは祝福師の祝福を受ける決心をしました。祝福文の中には、断食や祈り、家庭の夕べを通して、わたしは家族を「福音の中に」保てるという約束が含まれていました。わたしは常に家族のために祈りや断食を続けていましたが、家庭の夕べを行うという勧告には従っていませんでした。

やがて、わたしはブラジル・サンパウロの自宅を離れ、伝道に出ました。伝道中、多くの崩壊した家庭を見ました。

でも、自分の祝福文を研究することによって、それらの家庭に必要な解決策を見つけました。それは家庭の夕べです。わたしは家庭の夕べについて人々に教えました。そしてそのことを通して家族が強められ、夫婦が和解し、兄弟が一致する姿を目にしました。つまり、家庭が小さな天国のような所¹に変わっていくのを目の当たりにしたのです。

「このようなことが伝道地に住む家族に起きるなら、自分の家族もそうなれるのではないだろうか。」わたしはそう思いました。

伝道から帰還した後、わたしは家族と一緒に家庭の夕べを開こうと固く決心しました。最初は、皆しぶしぶ参加したので、計画どおりに教え終えるのに苦労しました。しかし、主は祝福と知らないことはお命じにならないと知っていたので、あきらめませんでした。次第に、わたしの祝福師の祝福にある約束が成就していきました。

わたしが家庭の夕べを開かないときには、家族が声をかけてくれるようになりました。家族全員が参加して、意見やアイデア、アドバイスを述べ合い、メッセージに注意深く耳を傾けてくれました。当時わたしたちはもう大人でしたが、ゲームの時間はまるでパーティーのようでした。

その結果、家族の一人一人が、それまでないがしろにしていた戒めに再び従い始め、以前より教会に集うようになりました。

わたしの家庭は、ちょっとだけ小さな天国に変わりました。わたしは心からそう言うことができます。家庭の夕べに感謝します。家庭の夕べは、すべての家庭で伝統とすべき、靈感されたプログラムです。■



白 分が
伝道地で
教えている家族が
家庭の夕べで
強められるなら、
自分の家族もそうなれる
のではないだろうか
としました。

福音に完全に 従っていた でしょうか

キャロリン・R・スペンサー

わ たしの聖文研究は中断されてしまいました。3人の男子全員がいつもより早く目覚めてしまったからです。18か月になる末っ子のケーデンがベビーベッドの中で泣き叫んでいました。部屋に入るとすぐに、ケーデンの体調が良くないことが分かりました。

このようにして、波乱に満ちた月曜日が始まりました。まず、ケーデンの着替えを終え、食事をさせようとする、ケーデンが大きなガラス瓶を床に投げつけました。中味のアップルソースが辺り一面に飛び散り、砕けたガラスの破片が台所の床中に散らばりました。汚れ物を片付けながら、家族歴史や奉仕、家庭貯蔵、伝道活動など、まだやり終えていないあらゆる事柄について考えていました。

「日常の仕事をこなすのがやっとなというのに、するべきことを、一体どうやって全部できるのかしら。」わたしは、そう自問しました。日が暮れ始めるころには疲れ果てていましたが、夕食や家庭の夕べの間、また、いつものように子供たちを入浴させたり、寝かしつけたりする間は、意気消沈するようなことは考えないようにしました。

子供たちを寝かしつけると、ようやく、それまで時間を取れなかったことをするために腰を下ろしました。『リアホナ』2006年5月号を手にとると、ヘンリー・B・アイリング管長の「**幼子**のように」という話が載っているページが開いていました。以前印を付けてい

読 みながら
自問しました。
「自分の

家族のことすらきちんと世話ができないのに、
どうしたら、
飢えている人に食べさせ、
着る物のない人に着せ、
病人を見舞い、
霊的にも物質的にも
人々を助けることができ
るのかしら。」

た次のような言葉が目にとまりました。「そのような心の変化という祝福を保つには、強い決意と努力、信仰が必要です。ベニヤミン王は、必要な事柄を幾つか教えてくれました。日々罪の赦しを絶えず受けるためには、飢えている人に食べさせ、着る物のない人に着せ、病人を見舞い、霊的にも物質的にも人々を助けなければならないと言っています。」(『リアホナ』2006年5月号, 17)

すぐに、自分は十分に福音に従った生活をしていないと改めて感じ、こう自問しました。「自分の家族のことすらきちんと世話ができないのに、どうしたら、飢えている人に食べさせ、着る物のない人に着せ、病人を見舞い、霊的にも物質的にも人々を助けることができるのかしら。」

そのときわたしは、神様がわたしの努力を認めておられるという気持ちを圧倒されるほど強く感じました。それ

は、あまりにも明確で、はっきりした実感を伴う経験だったので、忘れないよう書き留めるべきだと直感しました。心の中でわたしの一日が再現されました。わたしは空腹の子供たちに食べさせ、裸の子供たちに服を着せるために洗濯をし(ケーデンの服を何度も取り替えました)、病気の赤ん坊を優しく世話しました。また、5歳の息子が伝道について家庭の夕べで教えるのを手伝い、それから模範の力について家族と話し合いました。つまりわたしの一日は、霊的にも物質的にも人々を助ける働きで満ちていたのです。

そのとき、深い平安とともに靈感が心に流れ込み、主がわたしの献身的な働きを受け入れ、それを知らせてくださったことが分かりました。家族の世話をすることによって、わたしはベニヤミン王とアイリング管長の勧告に従っていたのです。■

神殿に連れて行って

アレハンドロ・ロブレス・V

ある土曜日の朝、ペルー・リマ神殿で奉仕していたとき、リマのあるステーキから20人ほどの子供が団体で訪問に来ました。神殿会長は温かく歓迎し一人一人と握手してから、神殿の神聖な働きについて話しました。特に家族関係が続くことと「家族は永遠に」という言葉の意味について強調しました。

子供たちは敬虔な態度で聴き入っていました。その中にロシータという5歳の女の子がいました。その晩、ロシータは遅くまで起きていて、父親が仕事から帰宅するまで、ベッドの端に座って待っていました。

帰宅した父親は、娘がまだ起きているのを見て驚きました。ロシータはベッドから跳び降りて父親に走り寄りました。父親が娘を抱き上げると、ロシータは父親の首に抱きつき、キスをしました。

「ローサちゃん(ロシータの愛称)は元気かな」と父親は尋ねました。

「元気よ、パパ。」

「今日は、いい子にしてたかい。」

「うん、パパ。」

「パパに何かしてほしいことでもあるのかな。」

ロシータはうなずきました。

「それは何かな。何をしてほしいんだい。」

「パパ」と言ってから、少し間をおいて「いつ、わたしを神殿に連れて行ってくれるの?」とロシータは言いました。



□ シータは父親に尋ねました。

「パパ、いつ、わたしを神殿に連れて行ってくれるの?」

父親は答える前に少しの間、黙り込みました。

「連れて行ってあげるよ、ローサ。ただ、今は仕事が大変なんだよ。パパはほんとうに忙しいんだ。でも、連れて行くと約束するよ。」

「ありがとう、パパ。」 そう言うと、ロシータは再び父親を抱きしめてキスをしました。

「じゃあ、ベッドに行って寝るんだよ。」

何か月もたった後、ロシータの家族は、神殿の結び固めの部屋にいました。結び固めの儀式が終わると、歓喜あふれる瞬間が待っていました。ロシータの父親は、愛と優しさを込めて子供たち一人一人を抱き締めました。そして、最後に抱き締めたのは末っ子のロシータでした。

ロシータの父親は、結び固めの儀式を執行してくれた人にこう話しました。「何か月前、この子がステーキの初等協会の子供たちと神殿を訪れました。その晩、娘はわたしが仕事から帰るのを待っていて、いつ神殿に連れて行ってくれるのかと尋ねたんです。神殿の建物を見ただけではないことが分かりました。そういうわけで、わたしは生活を整え、悪い習慣を断ち切る必要に迫られました。大変な努力が必要でした。しかし、ついにやり遂げたんです。今日は、これまでの人生の中で最も素晴らしい日です。家族が永遠に結ばれたんですから。」■

什分の一^{じゅうぶん}によって、 不安が 和らぐでしょうか

ナンシー・ケイ・スミス

年 長の子供たちが学校へ行き、下の子たちが昼寝をしている間に、わたしは台所のテーブルの上に請求書を広げました。そしてわずかな収入でやり繰りするために、知恵と能力を祈り求めながら、毎月の重苦しい作業に取りかかりました。いつものように什分の一の金額を最初に書き込みました。

妻や母親としてまだ経験の浅かったわたしは、末日聖徒イエス・キリスト教会の会員になったとき、什分の一を納めると決めました。その決意が揺らいだことは、それまで一度もありませんでした。しかし、毎月の公共料金、住宅

ローン、保険代の支払いに充てるお金が足りないことに深く悩んでいました。

6人の子供を抱える独り親となった今、いつも仕事に追われ、経済的な不安を抱え、押しつぶされそうになることがよくありました。また父親と母親の両方の役割を果たす中で、絶えず決断に迫られていました。慰めや助けを与えてくれる親戚^{しんせき}もいませんでした。

テーブルの前に座り、主に助けと慈悲を願い求めていると、聖霊がわたしの霊の眼を開き、美しく、慰めに満ちた救い主の愛のしるしをはっきりと見せてくださいました。生活上の神聖な優先事項を思い起こすにつれて、生活に必要な出費について新しい見方ができるようになりました。忠実に什分の一を納め、ささげ物をする人々に約束された祝福をわたしが受けることを、天の御父が望んでおられることが分かりました。また什分の一を納めることは、喜びに満ちた愛の行いであることも理解しました。恐れたり心配したりする必要はないのです。

主の御霊^{みたま}に満たされるにつれ、いつしかわたしは^{あかし}証を述べていました。

わ たしは台所の
テーブルの上に
請求書を

広げました。
そして、毎月の公共料金、
住宅ローン、保険代の
支払いに充てるお金が
足りないことに
深く悩みました。

これまで長い間、確固として、神聖に保ち続けてきた確信についての証です。次のように断言するわたしの声が、台所の静けさを破りました。救い主が与えてくださる生ける水がなくなるくらいなら、むしろ我が家の水道から水が出なくなる方がましです。命のパンにあずかれなくなるくらいなら、むしろ食卓の上に食物がなくなる方がましです。わたしの生活からキリストの光がなくなるくらいなら、むしろ電気のない暗く不便な生活を我慢する方がましです。主の宮に参入する特権を手放すくらいなら、むしろ子供たちとテントの中で暮らす方がましです。

あれほど深かった悩みは、すぐに解消しました。不安から生じていた弱気は、主への愛によって克服されたのです。天の御父はわたしたちの解放者、保護者、守護者です。わたしたちに必要

なものすべてを実際に与えてくださいます。御父の約束は確かであり、変わることがありません。わたしたちに什分の一を納めるよう命じられたのは、御父が天から祝福を惜しみなく与えられるようにするためです。すなわち心の平安、この世の煩いや物質的な心配事からの解放、御父の御名^{みな}を信頼する気持ちという祝福を与えるためなのです。

その日以来、わたしを先に愛してくださった主に対して、またそのような主のために、什分の一を納めることを喜びとしています。不安やためらいを感じることはまったくなくなりました。■



数字は記事の最初のページを表します。

Fは「フレンド」の略	悔い改め, 16
愛, 43, F8	啓示, 6
争い, 43	才能, 22
一致, 42	山上の垂訓, F2
祈り, 36, F6, F7, F12,	仕分の一, 47
F14	正直, 26
歌うこと, F14	初等協会, F4
改宗, 改心, 37	神殿, 25, 46
開拓者, 12, F11	スミス, ジョセフ, 6, F12
家族, 43, 45, 46, F4,	聖文研究, 16
F16	慎み, 28, F7
価値, 2, F8	標準, 26, 28, 33, F7
活発化, 2, 37	平安, 37, 47, F2
家庭の夕べ, 43, 48	奉仕, 2, 45
家庭訪問, 25	模範, 22, 26, 33, F6
「神への務め」, 37	友情, 26
教義と聖約, 6	労働, 38, 42

家庭の夕べのためのアイデア

以下の提案は、家庭だけではなくクラスでのレッスンにおいても役立つことができます。皆さんの家庭やクラスに合わせて変更を加えてもよいでしょう。

「人生の規範となる聖文の物語」 16ページ——始めに、この記事で紹介されている方法を用いながらダビデとゴリアテの物語を読みま

す。聖典に出てくる別の物語を読んで、「彼ら、そこ、当時」を探します。答えを紙に書き出します。その物語が現代に似ている点を探ね、「わたし、ここ、今」を書き出します。この方法が、個人や家族の聖文研究にどのように役立つかを話し合います。

「慎み深さ——あらゆる人に与えられた不変の原則」 28ページ——慎重に扱う必要のあるテーマですので、祈りの気持ちでレッスンを準備しましょう。「慎み深さとは何でしょうか」「なぜ慎み深くする必要があるのでしょ



「不変の原則」の項を用いて、慎み深さと、なぜそれが大切かについて説明します。慎み深さが聖霊を招くという概念を強調します。「慎み深さに伴う祝福」の項に出てくる話をして、慎み深い服装をすることにより得られた祝福や気づいた祝福について話すよう、家族に勧めてください。

「将来のすばらしい事柄」

36ページ——話を読み、勇気が必要とする状況を家族に書き出してもらいます。(幼い子供には、勇気の問題を説明する必要があるかもしれません。F6 - F7のお話は、勇気についての良い例です。) 宣教師はどのようにして勇気を得たか、そして、先ほど書き出した状況に自分たちならどのように原則を応用するかを話し合います。

「常に努力する」 38ページ——家族のみんなに1枚ずつタオルを配ります。自分の後ろで片手でタオルをたたんでもらい、だれがいちばん速くたためる

かを競争します。オクタビアン・テノリオ長老に起こった出来事をいくつか紹介します。テノリオ長老のどのような資質が目的を達成するのに役立ったか話し合みましょう。今度は自分の前で両手でタオルをたたんでももらいます。最大限の努力をするとより良い結果が生じるのはなぜか話し合います。

家庭の夕べの聖典劇

わたしの二人の子供がまだ保育園児だったころ、子供たちの注意を家庭の夕べに向けさせるのに苦労することがよくありました。ある週、わたしたちは従順についてのレッスンを計画していました。妻とわたしは、アンモンのお話をしようと決めていました。また、『モルモン書ものがたり』からアンモンのお話をした後に、その劇をしようと思いました。わたしたちは動物の人形を集めてきて羊の役をさせ、簡単な紙の剣を作りました。子供

たちはこの劇を大変気に入って、何度もやりたがりました。その週の終わりになると、子供が二人とも「次の月曜日は何の劇をするの」と尋ねたものです。

それからの数年間、わたしたちは家庭の夕べに何回か「聖典劇」を取り入れました。家族で聖典を読む時間に物語をおさらいした後、簡単な小道具を探したり作ったりするのを子供たちが手伝ってくれることが度々ありました。子供たちが遊んでいるときに物語の予行演習をしているのを見たことも

あります。

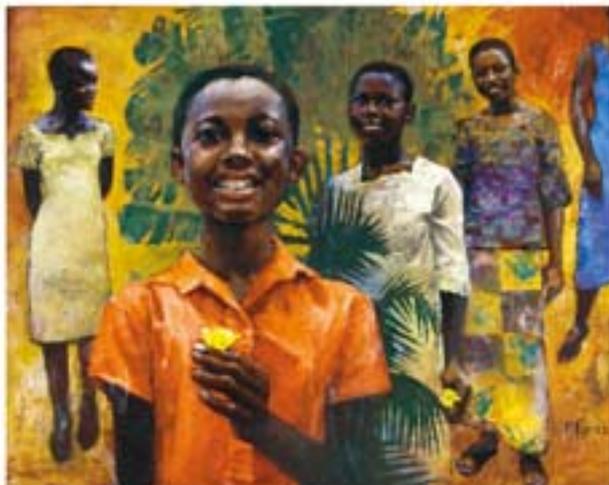
わたしたちが劇にしたのは、真鑰の版を取りに行くニーファイ、箱船を作るノア、ゴリアテと対決するダビデ、開拓者の経験、その他多数です。わたしたちは彼らの模範から学べる福音の原則を指摘しました。そして、子供たちは天の御父が今日でも同様にわたしたちを助けてくださることを証できるようにしました。

アメリカ合衆国、ユタ州、スコット・ムーイ、コニー・ムーイ



「砂の尾根を越える」ジェレミー・ウィンボーン画

1859年、新婚のロバート・トーンリーと妻のアニー・ブライイトン・トーンリーは、生活必需品を手に入れるために、ユタ北部の家から旅立った。途中、砂の尾根と呼ばれる場所^{とろ}で、雄牛の1頭が動けなくなつた。ロバートが元氣な牛とともにくびきを引いて、夫婦はそこから20マイル(32キロ)の旅を続けた。モーガンの岩に到着して手に入った食糧は、テンサイだけだった。トーンリー夫妻はテンサイだけを食べてその冬を越した。



バ, ベラ, ジョージナ, カレン, レベッカは,
アフリカ・ガーナにおける
教会の開拓者に数えられます。
ガーナのそのほかの末日聖徒の絵や話が
「ガーナの開拓者たち」(12ページ)に
載っています。

